

「心身機能のエイジングに着目した高齢期の就労支援に関する研究」
分担研究報告書

分担課題名 「就労継続に関連する項目（身体所見・生活習慣に関する網羅的解析）」

研究分担者 下方 浩史¹

研究代表者 大塚 礼²

¹ 名古屋学芸大学大学院栄養科学研究科

² 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 研究所 老化疫学研究部

【研究要旨】

本研究では、高齢者の就業に関連する、身体的な所見や生活習慣を網羅的に解析し、高齢者の就業支援の一助とすることを目的として研究を行った。対象者は、国立長寿医療研究センター老化に関する長期縦断疫学研究(NILS-LSA)の第5次調査(2006～2008年)の検査に参加した60～88歳の地域在住高齢者1,279人である。平均6.22年の追跡を行い就業率の変化を調べた。

総身体活動量が低い者では就業率は低くなっていたが、逆に余暇身体活動量が多い者で就業率が低くなっていた。趣味の活動を多くしたい者では就業をしない選択をしている可能性があった。運動障害による就業への影響は比較的少なかったが、激しい運動がとても困難と答えたものでは、就業率が低くなっており、体力が就業にある程度は影響する可能性がある。一方、入浴・着替えに障害を有するような、高度なADL障害がある場合には就業が困難であることが示された。認知機能、抑うつ、膝の障害や転倒、視聴覚障害、排尿障害、フレイル、サルコペニアは、本研究の対象者のような比較的健康的な集団では、就業への影響が少ないことが分かった。このように、働きたいという意志が強い高齢者では、加齢に伴うような比較的軽度な身体的な障害と関係なく、就業している実態が推測された。

A. 背景と目的

勤労意欲が高いことは日本人の特性のひとつである。定年退職という概念が生まれたのは、産業革命以後であり、それまでは農業や漁業、職人など、働けるまで働く生活であった。日本では戦後、生産性が上がって、高齢者の労働力がなくても、経済は維持できるようになったが、その結果、ある一定の年齢で退職して、その後は働かず、年金で生活する人が多くなった。しかし、現代の日本の高齢者でも、働ける

うちは自分で働いて、他人の世話にはなりたくないと思う人も多い。また、少子高齢化で、高齢者の労働力が再び必要となってきた¹⁾。

2014年度の内閣府「高齢者の日常生活に関する意識調査」では、現在仕事をしている全国60歳以上に男女において、「仕事をしたいと思わない」という人は1.8%しかおらず、「働けるうちはいつまでも」と生涯現役を望む人たちが42%もいた²⁾。高齢者を対象とした欧米諸国との国際比較でも、日本では「収入の伴う仕

事をしたい(続けたい)」が 44.9%と、米国、スウェーデン、ドイツを抑えて最も多くなっていた³⁾。働くということは、社会との関わりを積極的に持つことであり、身体機能、認知機能を鍛えて、健康寿命の延伸に役立っているものと思われる。

本研究では、高齢者の就業に関連する、身体的な所見や生活習慣を網羅的に解析し、高齢者の就業支援の一助とすることを目的として研究を行った。

B. 方法

対象者は、国立長寿医療研究センター老化に関する長期縦断疫学研究(NILS-LSA)⁴⁾の第5次調査(2006～2008年)の検査に参加した60～88歳の地域在住高齢者1,279人である。第5次調査時点での身体所見、精神心理的所見、生活習慣などと、その後の第6次調査(2008～2010年)、第7次調査(2010～2012年)、第8次調査(2013～2016年)の就労状況との関連を検討した。平均追跡期間(標準偏差)は6.22(2.11)年、平均追跡回数は3.18(1.09)回であった。

精神心理学的な所見として、認知機能の指標であるMMSE得点、抑うつ⁵⁾の指標であるCES-D得点、教育年数を、生活習慣として喫煙の有無、アルコール摂取量、総エネルギー摂取量、一日歩数、余暇身体活動量、総身体活動量を、身体所見として、BMI、二重エネルギーX線測定法(DXA)による体脂肪率、収縮期および拡張期血圧、身体的フレイル、サルコペニアの有無を、身体状況として、自記調査票による運動障害の有無、膝の障害、視力、聴力、転倒、排尿障害などを調査した。

身体的フレイルはCardiovascular Health Study criteriaによるWeight loss、Weakness、Exhaustion、Slowness、Low activityの5項目⁶⁾を部分的に改変した方法⁶⁾により判定した。サルコペニアはAWGS2019基準⁷⁾により判定した。

統計的解析は、第5次調査での各調査項目を2群に分け、就業有無で比較する横断的検討を行った。また、説明変数を2群に分けた各調査項目とし、就業の有無を目的変数として、年齢、性別、調査年次を調整し、さらに年齢と各変数の交互作用を含めて、就業状況と各調査項目との縦断的関連を一般化推定方程式(GEE)により検討した。GEEによる解析は年齢を中心化して行った。また、年齢別の就業率を性別の平均値として図示し、年令によるオッズ比の変化も図で示した。解析にはR 4.3.3を用いた⁸⁾。

C. 結果

表1に示すように、第5次調査における就業者は男性に多く、また年齢が低く、追跡期間が長かった。MMSE、CES-Dの得点に就業の有無による違いはなかったが、身体所見、生活習慣では、ほとんどの項目で就業の有無により有意差が認められた。就業者は教育年数が長く、非喫煙で、飲酒量が少なく、BMIおよび体脂肪率が多く、一日の歩数が多く、余暇身体活動量は少ないが、総身体活動量は多く、収縮期および拡張期血圧は低く、総エネルギー摂取量は多かった。

身体状況の比較では表2に示すように、就業者では運動が困難なものは少なく、膝の痛みを有するものも少なかった。また、転倒恐怖を持つものも少なかった。排尿障害では夜間排尿がある者、尿漏れがあるものが少なかった。しかし、視力や聴力の障害を自覚する者の割合には差がなかった。

フレイルについては、3～5項目に当てはまるフレイルと2項目以下の非フレイルとの比較を行った。表3に示すように、フレイルの割合には就業による差はなかった。しかし、サルコペニアは就業者で少なかった。

性別、年齢、調査年次を調整した縦断的解析では、男性の就業の割合が、女性よりも77歳までは有意に多かった(表4、図1)。

MMSE 得点、CES-D の得点には就業による差はなかった(図 2,3)。教育年数が長いものは 65 歳までの就業は多かったが、65 歳以降は有意な差はなかった(図 4)。喫煙は 63 歳までは非喫煙者の方が就業率は高かったが、73 歳以降はむしろ喫煙者の方が就業率は高かった(図 5)。飲酒も 73 歳以降で飲酒量が多い者で就業率が高かった(図 6)。自覚的健康度には有意差はなかった(図 7)。BMI は低い痩せた者の就業率は 68 歳までは低かったが(図 8)、体脂肪率による差はなかった(図 9)。一日歩数が少ない者の就業率は 68 歳までは低かったが、68 歳以降では差はなかった。(図 10)。余暇身体活動量が多い者はどの年齢でも就業率が低かったが(図 11)、総身体活動量が多い者で就業率が高かった(図 12)。収縮期血圧では就業率に差はなかったが(図 13)、拡張期血圧が高いもので 65 歳未満まで就業率がわずかに低かった(図 14)。総エネルギー摂取量が少ないものでは 68 歳まで就業率が低かった(図 15)。

身体状況と就業率の関係ではほとんどの項目で有意な関連はみられなかった(表 5、図 16~26)。75 歳までで激しい運動がとても困難な者の就業率は有意に低かった(図 16)。また入浴・着替えがとても困難な者の就業率はゼロであった(図 25)。膝の障害や(図 26~29)、視聴覚障害(図 30、31)、転倒(図 32、33)、排尿障害(図 34~42)には年齢別の就業率に優位な差はなかった。フレイル、サルコペニアによる年齢別就業率の差もなかった(図 43、44)。

D. 考察および結論

高齢者の就業率はどの年齢でも男性が高く、また年齢が高くなるにつれて就業率は低くなっていた。このように高齢者の就業率には性・年齢による差が大きく、高齢者の就業率に関連する因子を見出すために行った縦断的な解析では、年齢と調査年次を調整し、男女の平均

値で就業率の変化を推定した。

平均 6.22 年の追跡で、抑うつや認知機能の変化は就業には影響を及ぼさない可能性が示された。これは、本研究での対象者が比較的健康で、進行した抑うつや認知機能障害を有する者が少ないためと考えられる。

大学卒業以上の教育歴は 65 歳の定年退職年齢までの就業率には関連するが、それ以降の就業には影響はなかった。喫煙や飲酒の影響は年齢によって異なり、年齢が高い場合には、むしろ喫煙者や飲酒習慣を有する高齢者のほうが就業率は高かった。高齢まで就業している者は企業のオーナーや管理職が多く、接待などがあるためとも考えられる。

体格と就業率との関連は弱かった。総身体活動量が低い者では就業率は低くなっていたが、逆に余暇身体活動量が多い者で就業率が低くなっていた。趣味の活動を多くしたい者では就業をしない選択をしている可能性がある。

運動障害による就業への影響は比較的少なかったが、激しい運動がとても困難と答えたものでは、就業率が低くなっており、体力が就業にある程度は影響する可能性がある。入浴・着替えに障害を有するような、高度な ADL 障害がある場合には就業が困難であることが示された。膝の障害や転倒、視聴覚障害、排尿障害、フレイル、サルコペニアは本研究の対象者のような比較的健康な集団では、就業への影響が少ないことが分かった。

このように、働きたいという意志が強い高齢者では、加齢に伴うような比較的軽度な身体的な障害と関係なく、就業している実態が推測された。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

Shimokata H, Nishita Y, Tange C, Kubota S, Ando F, Otsuka R. Frailty and employment among the older adult population - a longitudinal study in Japanese community-dwellers. International Conference on Frailty and Sarcopenia Research (ICFSR 2024), Albuquerque, NM, USA June 20-22, 2024.

H. 知的所有権の出願・登録状況

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

I. 参考文献

- 1) 下方浩史：日本人の生涯現役を目指す生き方。100歳まで自然に元気な和食の流儀。白水社、東京、pp194-195, 2020
- 2) 内閣府：平成26年度 高齢者の日常生活に関する意識調査結果（全体版）
<https://www8.cao.go.jp/kourei/ishiki/h26/sougou/zentai/index.html>.
- 3) 内閣府：平成27年度 第8回高齢者の生活と意識に関する国際比較調査結果
<https://www8.cao.go.jp/kourei/ishiki/h27/zentai/index.html>
- 4) Shimokata H, Ando F, Niino N. A new comprehensive study on aging—the National Institute for Longevity Sciences, Longitudinal Study of Aging (NILS-LSA). J Epidemiol 10; 1-9, 2000.
- 5) Fried LP, Tangen CM, Walston J, et al.

Frailty in older adults: evidence for a phenotype. J Gerontol A Biol Sci Med Sci 56; M146-156, 2001.

- 6) Yuki A, Otsuka R, Tange C, et al. Physical frailty and mortality risk in Japanese older adults. Geriatr Gerontol Int 18: 1497-1500, 2018.
- 7) Chen LK, Liu LK, Woo J, Assantachai P, et al. Sarcopenia in Asia: consensus report of the Asian Working Group for Sarcopenia. J Am Med Dir Assoc 15; 95-101, 2014.
- 8) R4.3.3. The R Project for Statistical Computing. <https://www.r-project.org/>

表 1. 就業の有無別にみた心身所見、生活習慣(第 5 次調査)

	無職	就業	p値
人数	898	381	
性別 (男性)	387 (43.1)	245 (64.3)	<0.001
年齢 (歳)	73.03 (6.40)	66.47 (5.73)	<0.001
追跡期間 (年)	4.85 (2.91)	6.37 (2.09)	<0.001
MMSE得点25未満	85 (9.5)	27 (7.1)	0.207
CES-D得点16以上	140 (15.8)	45 (12.1)	0.102
教育年数16年未満	836 (93.1)	318 (83.5)	<0.001
喫煙者	571 (63.7)	195 (51.3)	<0.001
アルコール5g/日未満	231 (28.5)	155 (42.6)	<0.001
自覚的健康度が悪い	97 (10.8)	21 (5.5)	0.004
BMI22未満	386 (43.0)	134 (35.2)	0.011
体脂肪率30%未満	529 (59.6)	281 (74.1)	<0.001
歩数8000歩/日未満	490 (61.1)	150 (41.8)	<0.001
余暇身体活動量80METs*分/日未満	434 (48.5)	234 (61.6)	<0.001
総身体活動量2000METs*分/日未満	771 (86.4)	239 (62.9)	<0.001
収縮期血圧130mmHg以上	356 (39.7)	126 (33.2)	0.031
拡張期血圧85mmHg以上	172 (19.2)	65 (17.1)	0.424
エネルギー摂取量2000kcal/日未満	510 (63.0)	153 (42.0)	<0.001
平均値 (標準偏差) もしくは人数 (%)			

表 2. 就業の有無別にみた所見症状(第 5 次調査)

	無職	就業	p値
人数	898	381	
性別 (男性)	387 (43.1)	245 (64.3)	<0.001
年齢 (年)	73.03 (6.40)	66.47 (5.73)	<0.001
平均追跡期間 (年)	4.85 (2.91)	6.37 (2.09)	<0.001
激しい運動がとても困難	395 (44.0)	79 (20.7)	<0.001
適度の運動がとても困難	13 (1.4)	3 (0.8)	0.486
少し重い物を運ぶのがとても困難	40 (4.5)	5 (1.3)	0.009
階段を数階上まで登るのがとても困難	75 (8.4)	11 (2.9)	0.001
階段を 1 階上まで登るのがとても困難	20 (2.2)	3 (0.8)	0.123
体を前に曲げるのがとても困難	40 (4.5)	7 (1.8)	0.035
1 キロ以上歩くのがとても困難	75 (8.4)	10 (2.6)	<0.001
数百メートル以上歩くのがとても困難	28 (3.1)	4 (1.0)	0.049
百メートル以上歩くのがとても困難	9 (1.0)	3 (0.8)	0.962
入浴・着替えがとても困難	5 (0.6)	0 (0.0)	0.332
正座をするのがとても困難	116 (12.9)	26 (6.8)	0.002
膝の手術あり	14 (1.6)	8 (2.1)	0.658
膝の外傷あり	81 (9.0)	27 (7.1)	0.302
右膝の痛みあり	430 (47.9)	155 (40.7)	0.020
左膝の痛みあり	378 (42.1)	132 (34.6)	0.015
自分の視力が悪い	124 (13.8)	45 (11.8)	0.378
自分の聞こえが悪い	549 (61.2)	219 (57.5)	0.238
転倒恐怖あり	615 (68.6)	196 (51.4)	<0.001
転倒既往あり	200 (22.3)	70 (18.4)	0.134
残尿感あり	256 (28.5)	116 (30.5)	0.518
頻尿あり	546 (60.9)	229 (60.3)	0.889
尿線途絶あり	255 (28.4)	124 (32.6)	0.151
尿の我慢が辛い	371 (41.4)	153 (40.3)	0.763
尿の勢いが弱い	443 (49.4)	199 (52.4)	0.361
排尿開始時にいきむ	177 (19.7)	80 (21.1)	0.644
夜間排尿あり	756 (84.3)	299 (78.7)	0.020
排尿に満足していない	199 (22.2)	69 (18.2)	0.123
尿漏れあり	316 (35.2)	96 (25.3)	0.001
平均値 (標準偏差) もしくは人数 (%)			

表 3. 就業の有無別にみたフレイル・サルコペニア (第 5 次調査)

	無職	就業	p値
人数	733	346	
性別 (男性)	310 (42.3)	226 (65.3)	<0.001
年齢 (年)	72.65 (6.48)	66.21 (5.55)	<0.001
平均追跡期間 (年)	148 (20.2)	26 (7.5)	<0.001
フレイル	441 (60.2)	203 (58.7)	0.689
サルコペニア	257 (28.6)	48 (12.6)	<0.001

表 4. 就業の有無と心身所見、生活習慣の縦断的解析結果

変数	変数の回帰係数			年齢と変数との交互作用		
	推定値	標準誤差	p値	推定値	標準誤差	p値
性別（男性）	5.008	1.314	<0.001	-0.061	0.019	<0.001 ***
MMSE得点25未満	0.154	0.241	0.523 NS	-0.049	0.038	0.200 NS
CES-D得点16以上	-0.146	0.202	0.470 NS	0.003	0.028	0.926 NS
教育年数16年未満	0.068	0.232	0.770 NS	0.068	0.032	0.034 *
喫煙者	0.390	0.179	0.029 *	0.082	0.020	<0.001 ***
アルコール5g/日未満	-0.344	0.172	0.046 *	-0.055	0.021	0.010 *
自覚的健康度が悪い	-0.179	0.253	0.479 NS	0.034	0.034	0.312 NS
BMI22未満	-0.113	0.138	0.413 NS	0.032	0.019	0.093 NS
体脂肪率30%未満	-0.033	0.192	0.863 NS	-0.012	0.019	0.525 NS
歩数8000歩/日未満	-0.034	0.147	0.816 NS	0.041	0.020	0.042 *
余暇身体活動量80METs*分/日未満	0.900	0.144	<0.001 ***	0.007	0.020	0.734 NS
総身体活動量2000METs*分/日未満	-1.101	0.162	<0.001 ***	-0.012	0.021	0.572 NS
収縮期血圧130mmHg以上	-0.048	0.143	0.736 NS	0.010	0.019	0.589 NS
拡張期血圧85mmHg以上	0.030	0.171	0.861 NS	0.048	0.021	0.023 *
エネルギー摂取量2000kcal/日未満	0.010	0.162	0.949 NS	0.056	0.020	0.005 **

*p<0.05, **p<0.01, ***p<0.001

表 5. 就業の有無と身体症状の縦断的解析結果

変数	変数の回帰係数			年齢と変数との交互作用		
	推定値	標準誤差	p値	推定値	標準誤差	p値
性別（男性）	5.008	1.314	<0.001	-0.061	0.019	0.001
激しい運動がとても困難	-0.364	0.155	0.019 *	0.021	0.021	0.305 NS
適度の運動がとても困難	0.318	0.641	0.620 NS	-0.016	0.062	0.794 NS
少し重い物を運ぶのがとても困難	-0.217	0.495	0.661 NS	0.042	0.041	0.303 NS
階段を数階上まで登るのがとても困難	0.012	0.399	0.975 NS	-0.065	0.056	0.248 NS
階段を1階上まで登るのがとても困難	0.191	0.675	0.777 NS	0.010	0.050	0.839 NS
体を前に曲げるのがとても困難	0.308	0.401	0.443 NS	0.004	0.048	0.934 NS
1キロ以上歩くのがとても困難	0.003	0.368	0.994 NS	0.050	0.039	0.194 NS
数百メートル以上歩くのがとても困難	0.121	0.541	0.823 NS	0.018	0.044	0.684 NS
百メートル以上歩くのがとても困難	1.224	0.874	0.161 NS	-0.011	0.063	0.867 NS
入浴・着替えがとても困難	-38.495	0.692	0.000 ***	0.185	0.059	0.002 **
正座をするのがとても困難	0.060	0.234	0.799 NS	0.056	0.027	0.037 *
膝の手術あり	-0.028	0.521	0.957 NS	-0.119	0.094	0.203 NS
膝の外傷あり	-0.324	0.275	0.239 NS	-0.040	0.037	0.275 NS
右膝の痛みあり	0.036	0.140	0.796 NS	0.008	0.019	0.674 NS
左膝の痛みあり	-0.018	0.145	0.900 NS	0.001	0.019	0.978 NS
自分の視力が悪い	-0.221	0.214	0.301 NS	-0.018	0.031	0.550 NS
自分の聞こえが悪い	0.065	0.142	0.647 NS	0.000	0.019	0.987 NS
転倒恐怖あり	0.087	0.148	0.556 NS	0.021	0.019	0.272 NS
転倒既往あり	-0.076	0.174	0.663 NS	-0.036	0.024	0.132 NS
残尿感あり	0.059	0.147	0.686 NS	0.033	0.021	0.112 NS
頻尿あり	-0.166	0.140	0.235 NS	0.017	0.019	0.376 NS
尿線途絶あり	0.100	0.148	0.497 NS	0.015	0.021	0.488 NS
尿の我慢が辛い	-0.011	0.137	0.935 NS	0.011	0.019	0.555 NS
尿の勢いが弱い	0.018	0.136	0.896 NS	-0.004	0.019	0.843 NS
排尿開始時にいきむ	-0.194	0.176	0.271 NS	-0.027	0.028	0.324 NS
夜間排尿あり	-0.260	0.178	0.144 NS	-0.017	0.021	0.417 NS
排尿に満足していない	-0.199	0.166	0.231 NS	0.006	0.026	0.803 NS
尿漏れあり	-0.077	0.159	0.627 NS	0.016	0.021	0.429 NS

*p<0.05, **p<0.01, ***p<0.001

表 6. 就業の有無とフレイル・サルコペニアの縦断的解析結果

変数	変数の回帰係数				年齢と変数との交互作用			
	推定値	標準誤差	p値		推定値	標準誤差	p値	
フレイル	0.050	0.243	0.838	NS	0.035	0.026	0.182	NS
サルコペニア	-0.182	0.337	0.589	NS	0.017	0.037	0.643	NS

*p<0.05, **p<0.01, ***p<0.001

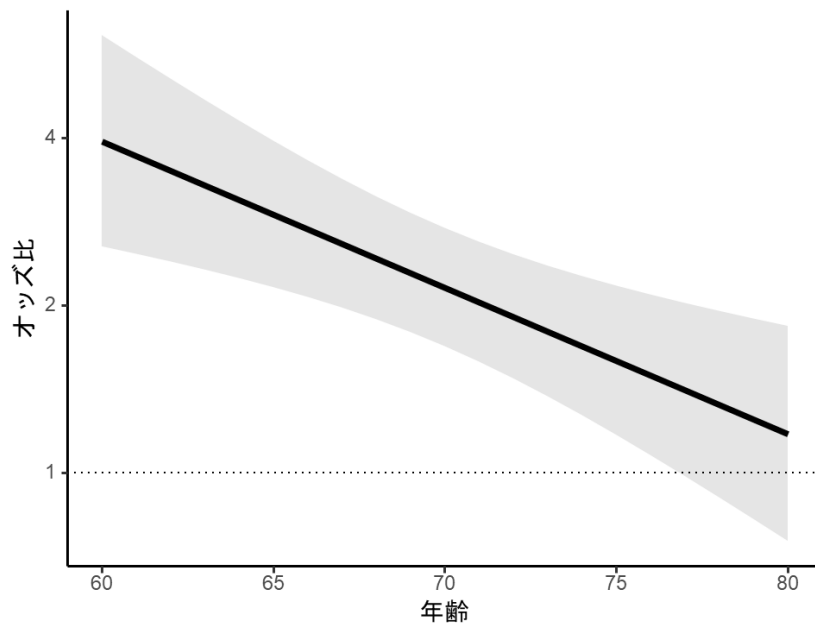
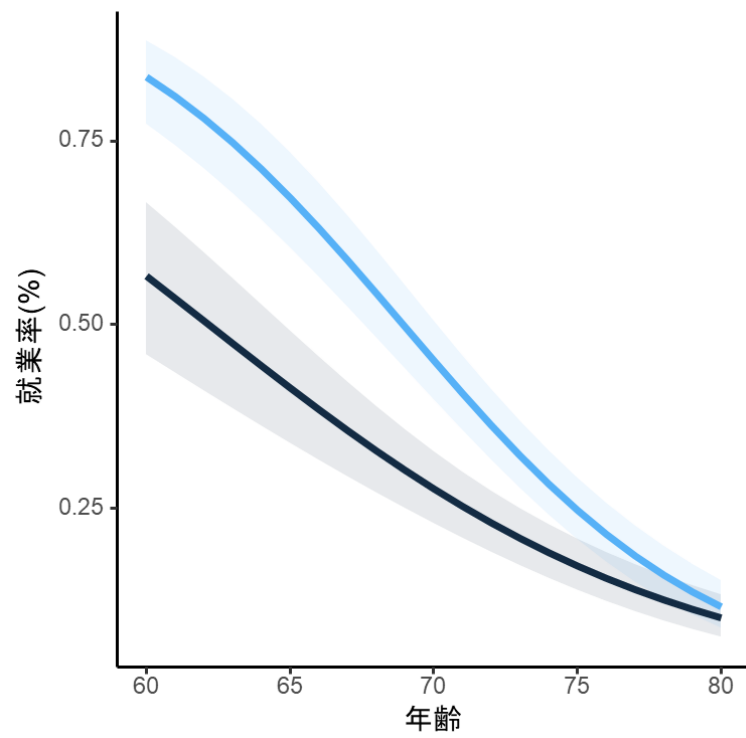


図 1. 性・年齢別の推定就業率(上)と年齢別のオッズ比(下)
青が男性、黒が女性

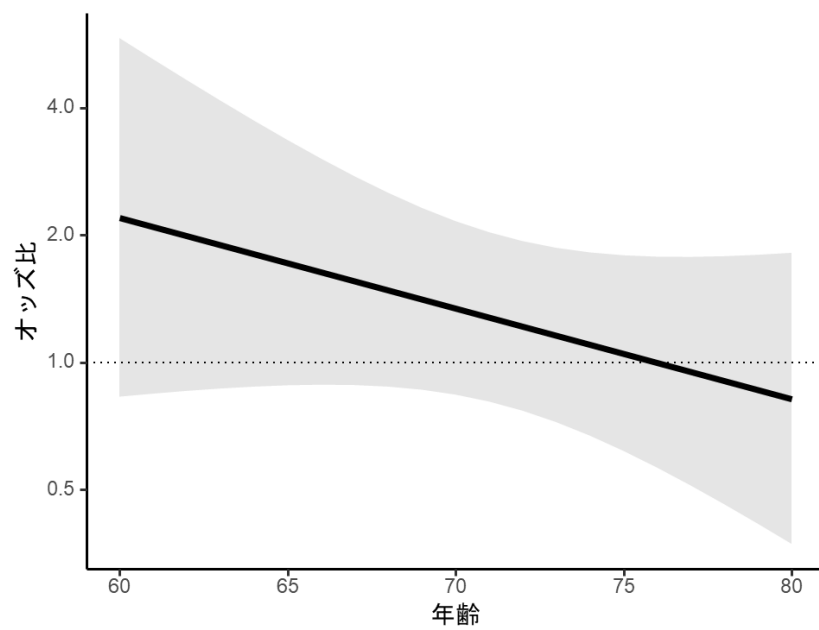
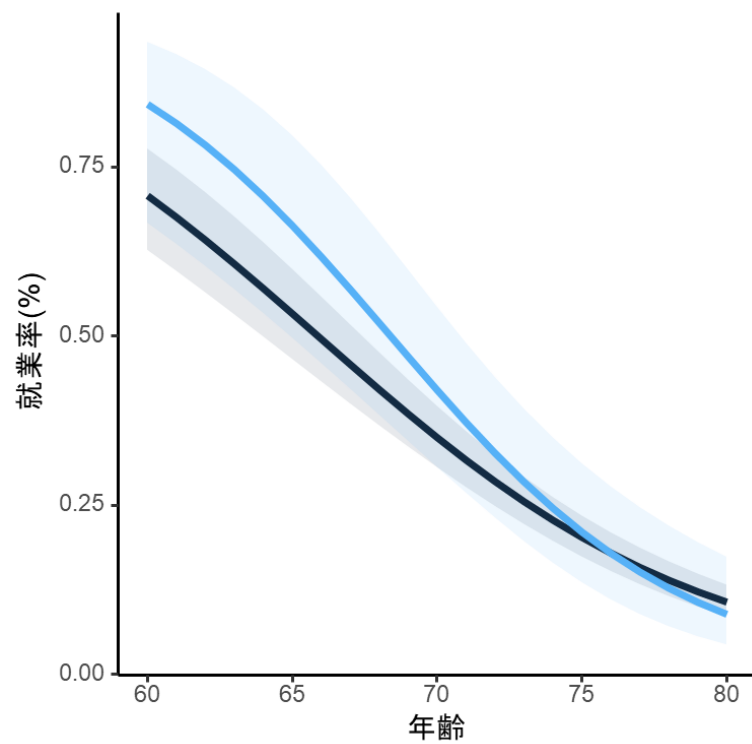


図 2. MMSE・年齢別の推定就業率(上)と年齢別のオッズ比(下)
青が MMSE25 点未満、黒が 25 点以上

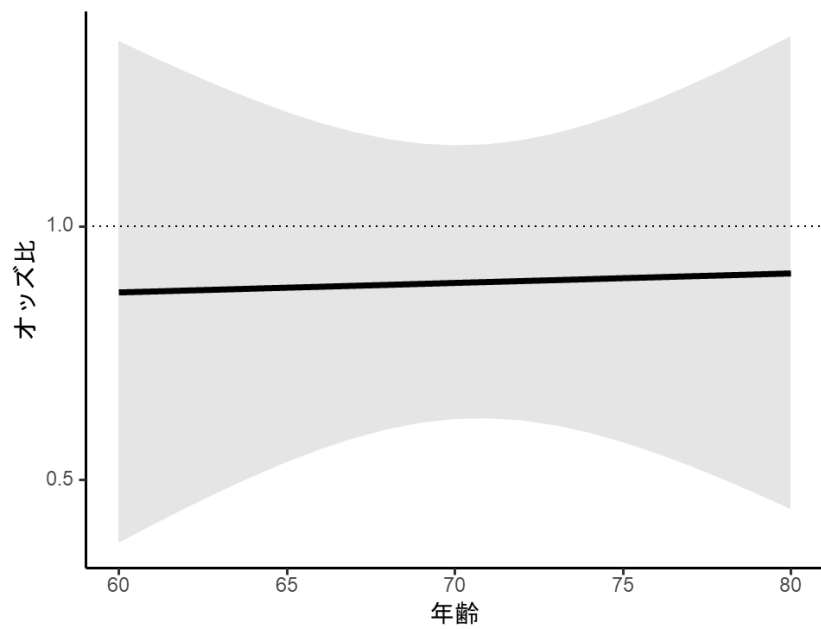
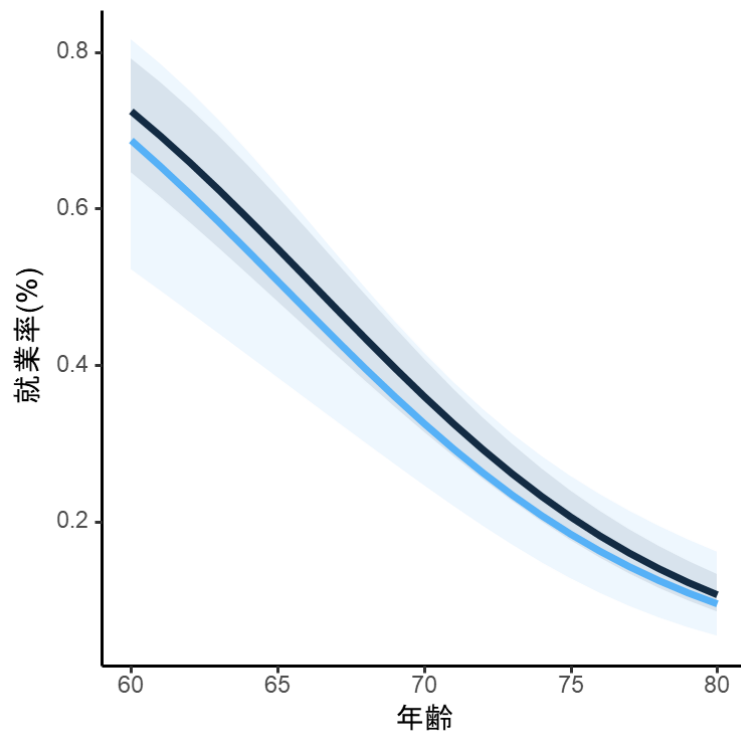


図 3. CES-D・年齢別の推定就業率(上)と年齢別のオッズ比(下)
青が CES-D16 点以上、黒が 16 点未満

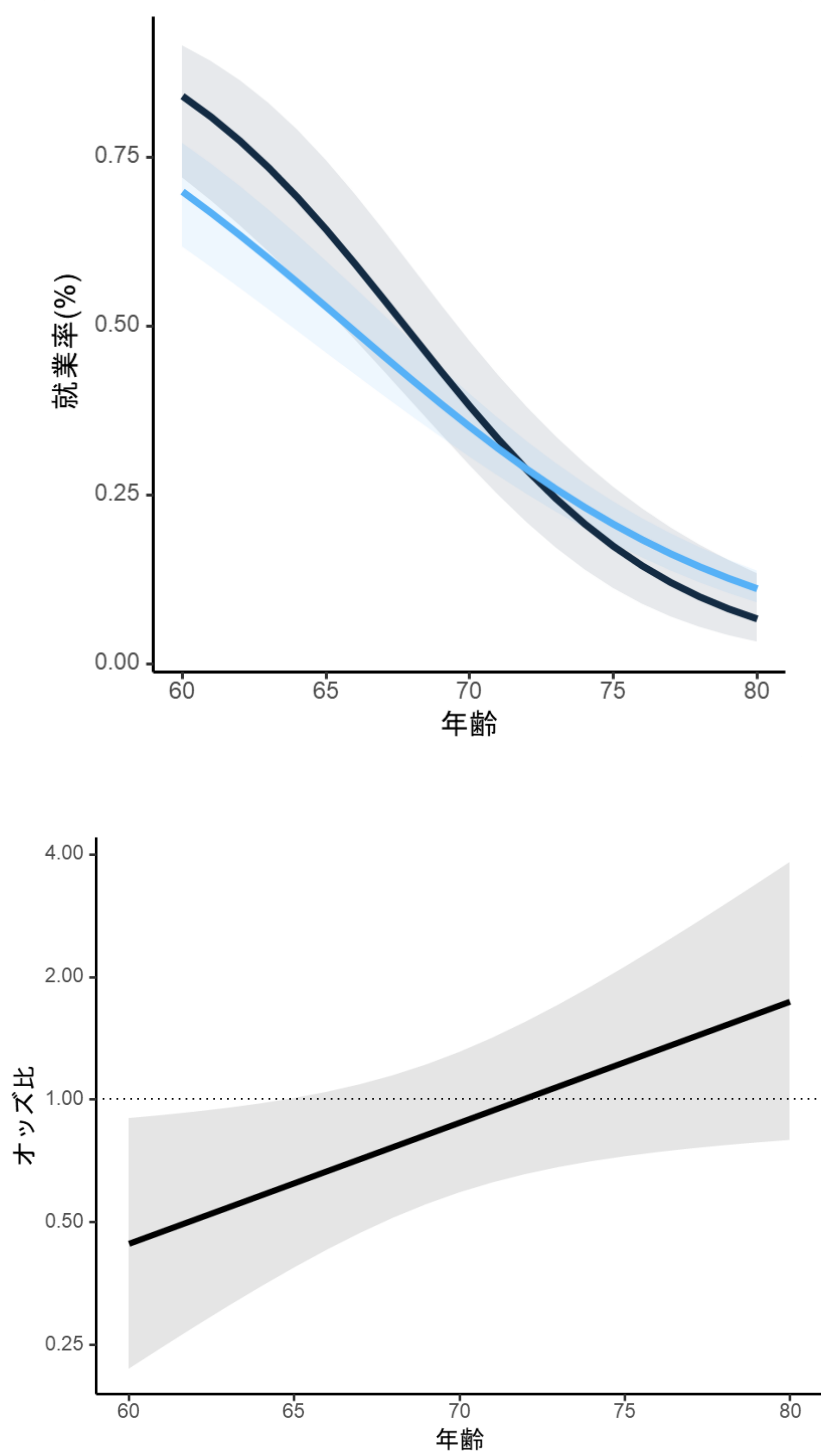


図 4. 教育年数・年齢別の推定就業率(上)と年齢別のオッズ比(下)
 青が教育年数 16 年未満、黒が 16 年以上

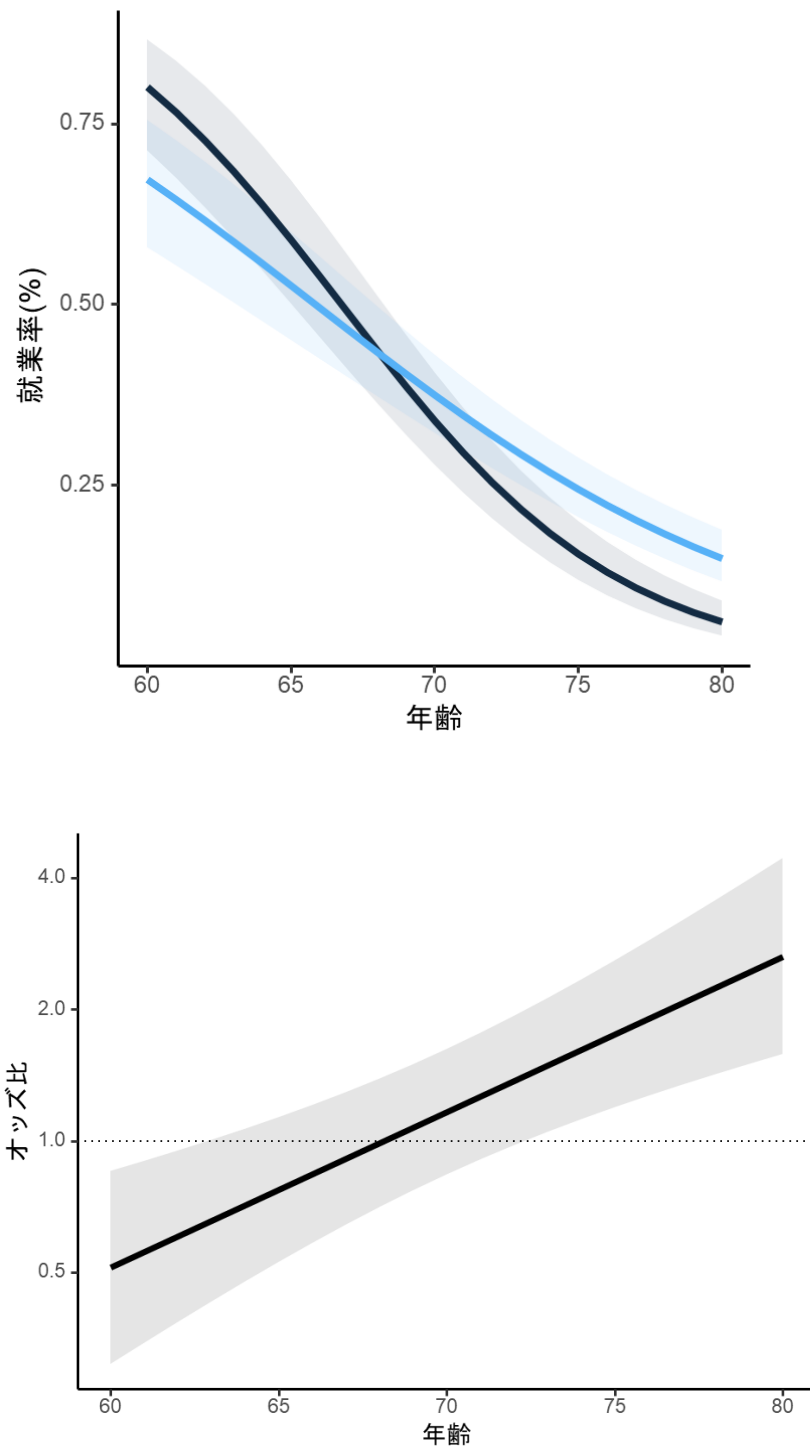


図 5. 喫煙・年齢別の推定就業率(上)と年齢別のオッズ比(下)
青が喫煙者、黒が非喫煙者

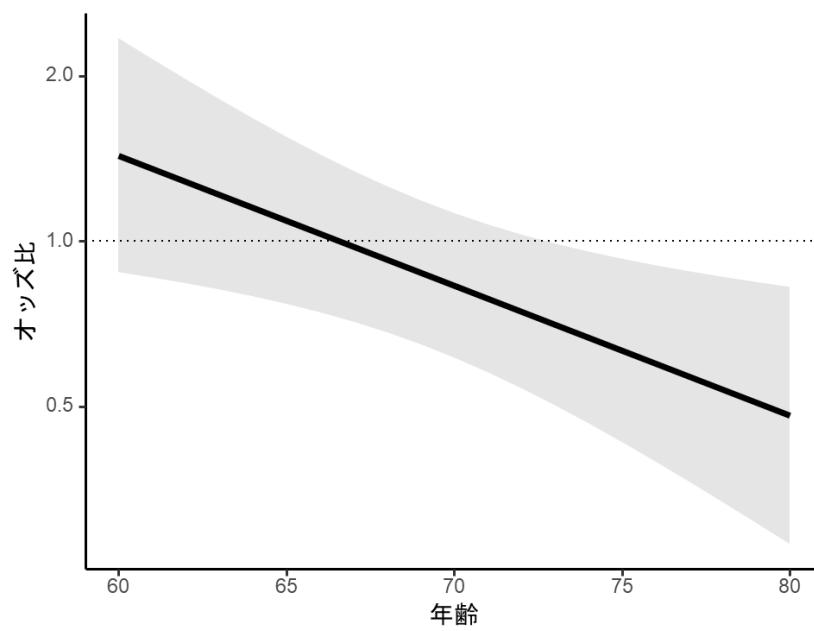
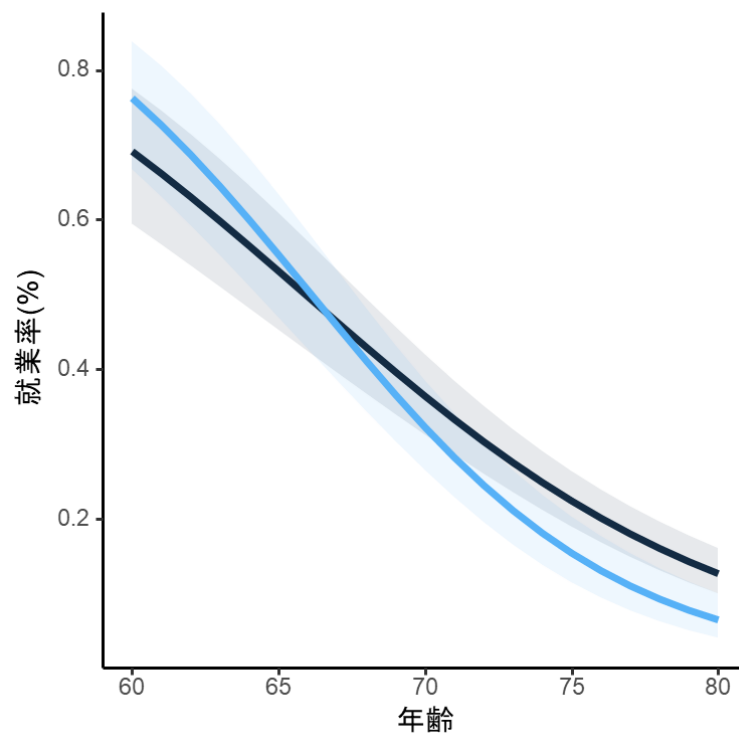


図 6. 飲酒・年齢別の推定就業率(上)と年齢別のオッズ比(下)
青がアルコール 5g/日未満、黒が 5g/日以上

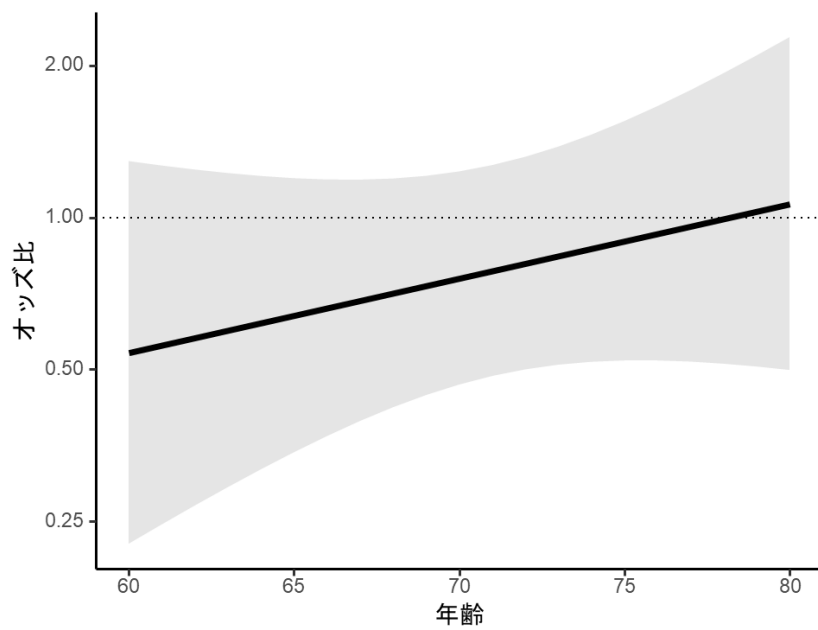
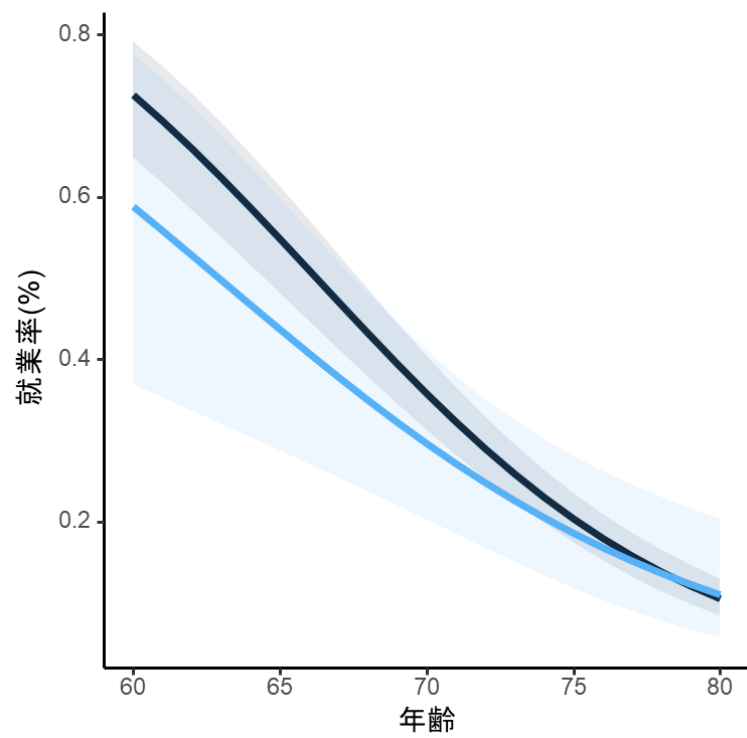


図 7. 自覚的健康度・年齢別の推定就業率(上)と年齢別のオッズ比(下)
青が自覚的健康度が悪い、黒が悪くない

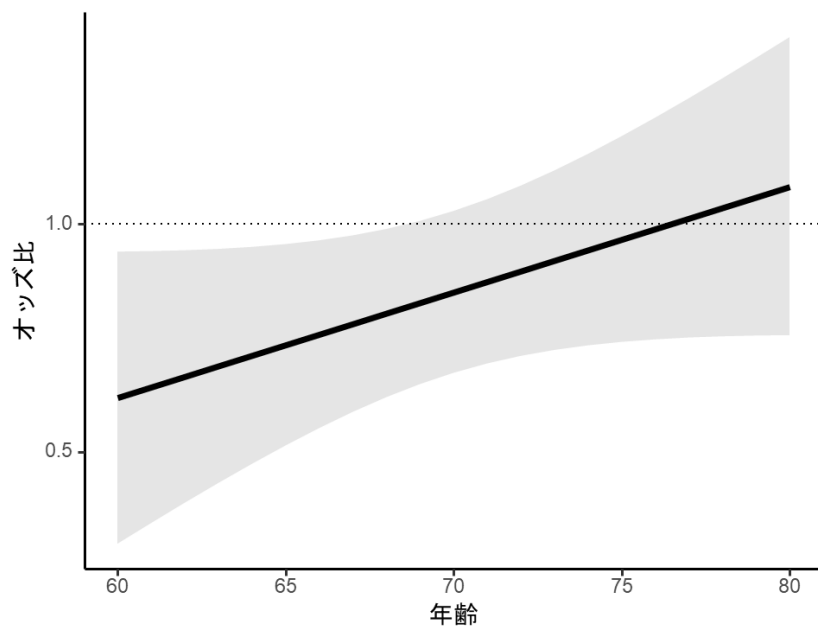
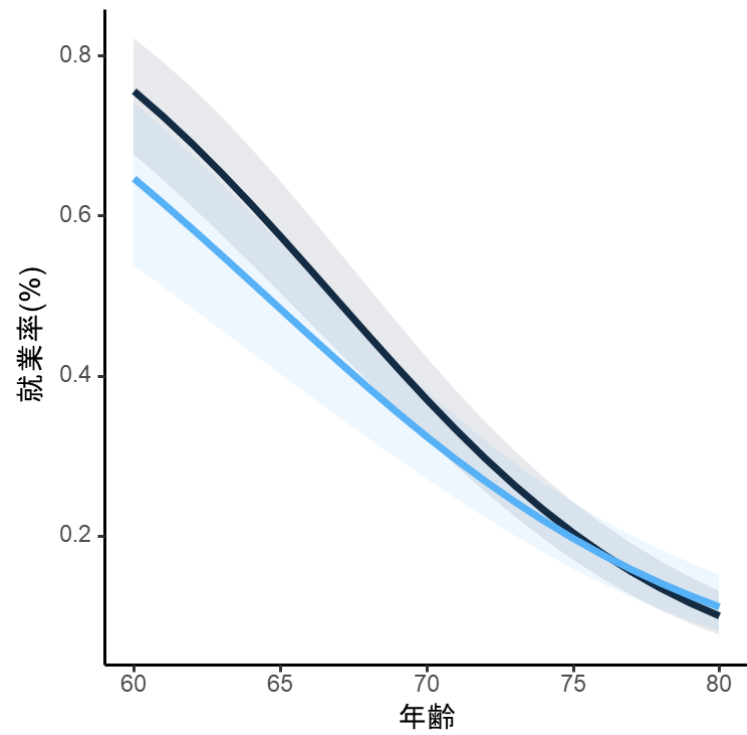


図 8. BMI・年齢別の推定就業率(上)と年齢別のオッズ比(下)
青が BMI22 未満、黒が 22 以上

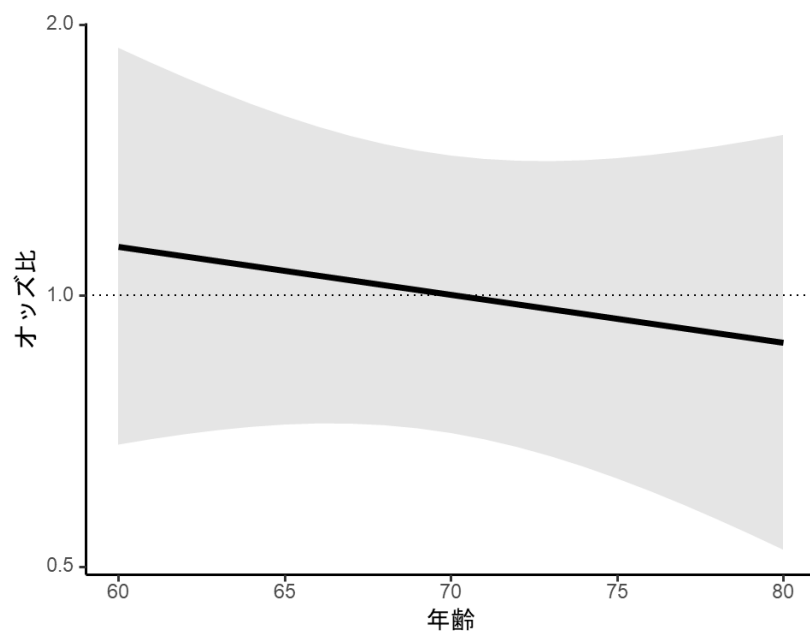
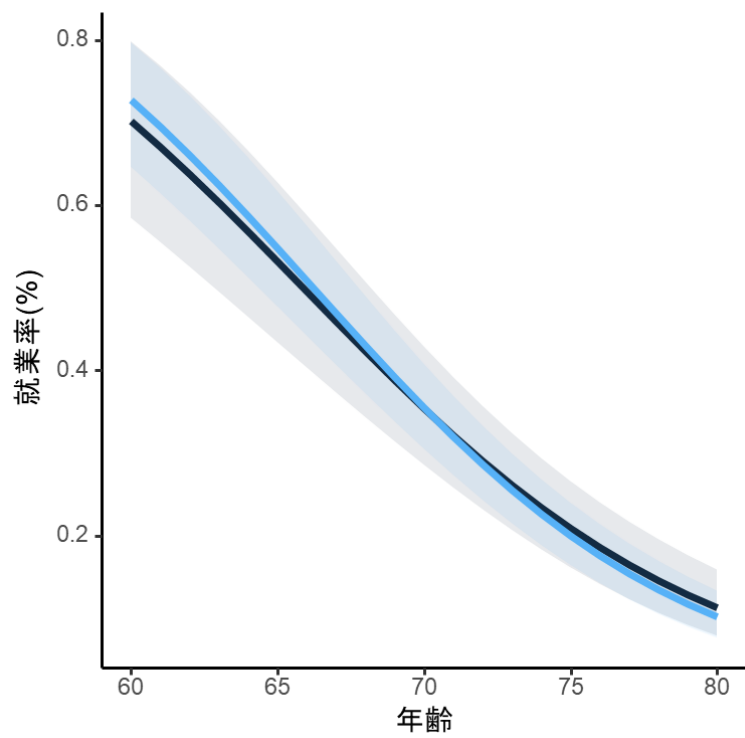


図 9. 体脂肪率・年齢別の推定就業者率(上)と年齢別のオッズ比(下)
青が体脂肪率 30%未満、黒が 30%以上

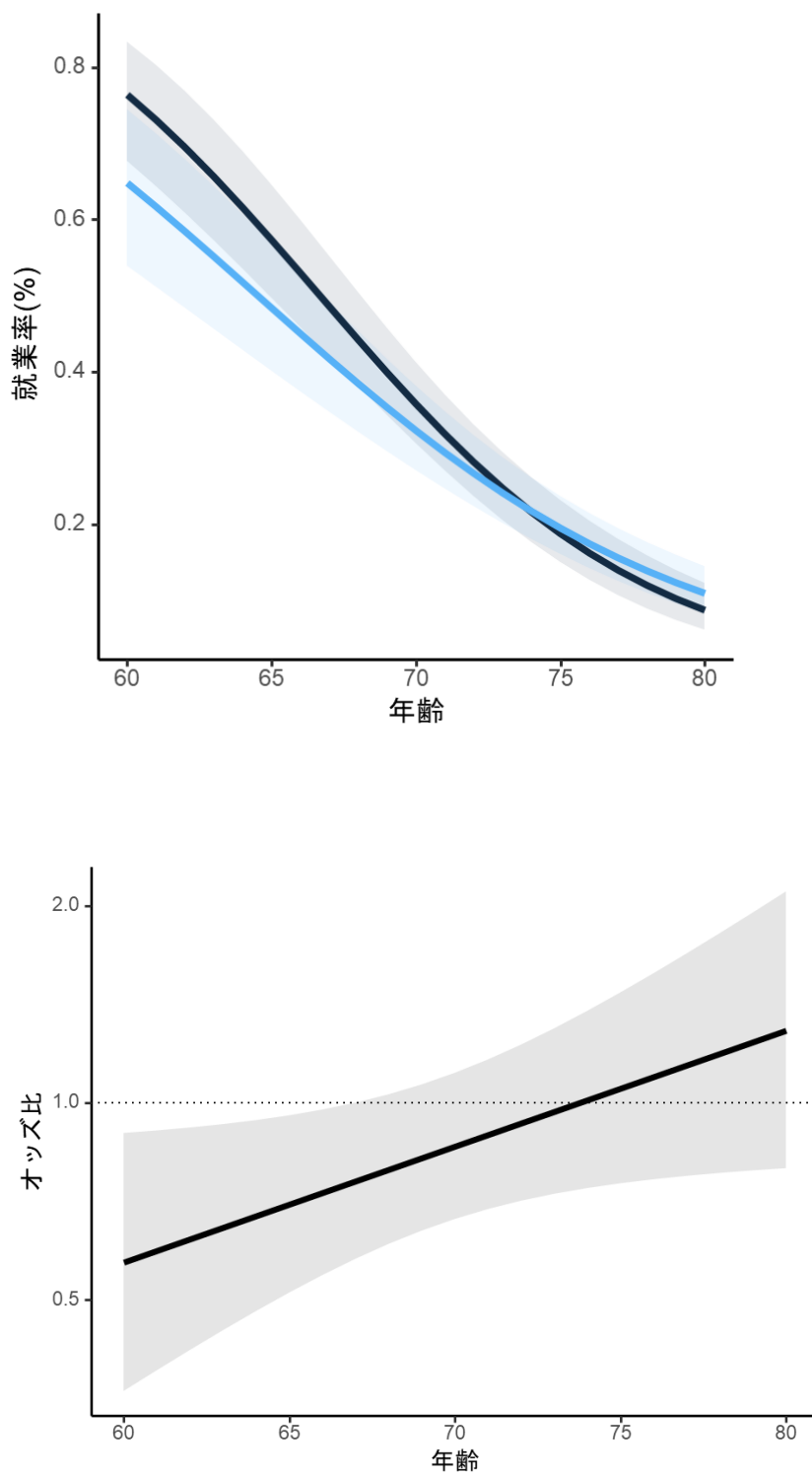


図 10. 歩数・年齢別の推定就業率(上)と年齢別のオッズ比(下)
青が 8000 歩/日未満、黒が 8000 歩/日以上

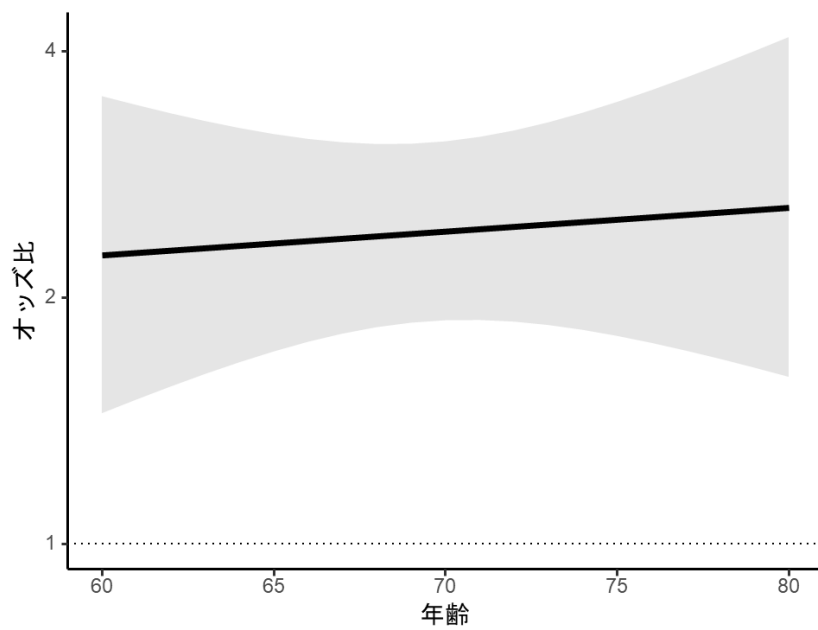
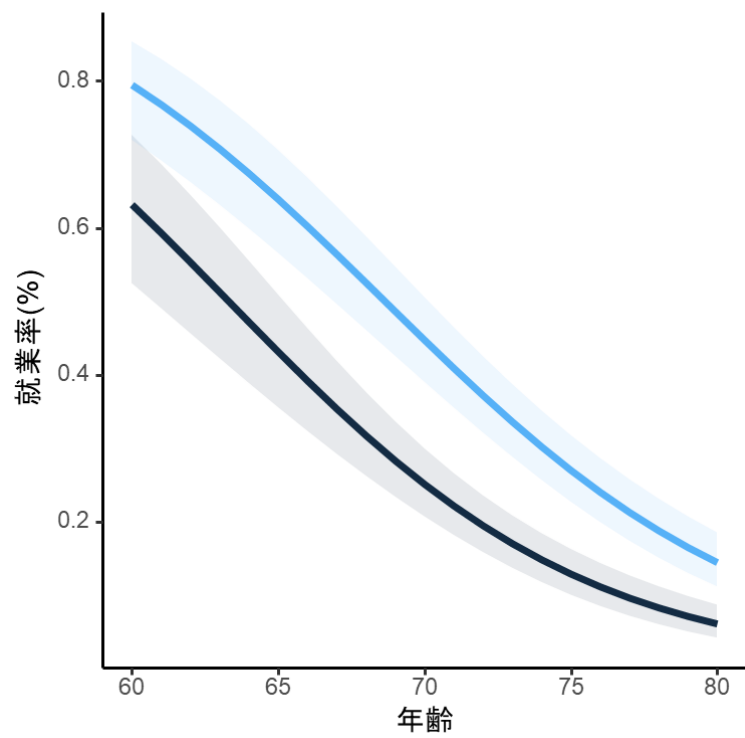


図 11. 余暇身体活動量・年齢別の推定就業率(上)と年齢別のオッズ比(下)
 青が 80METs*分/日未満、黒が 80METs*分/日以上

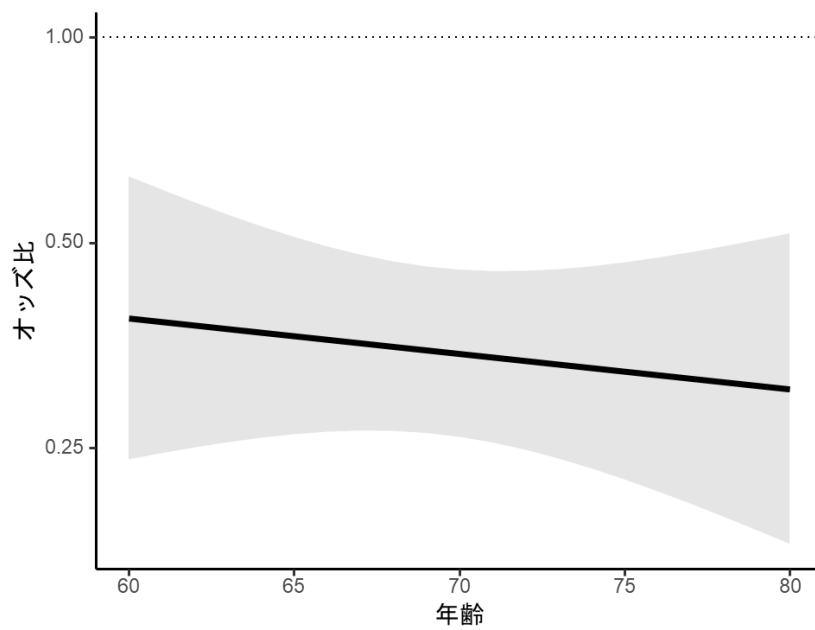
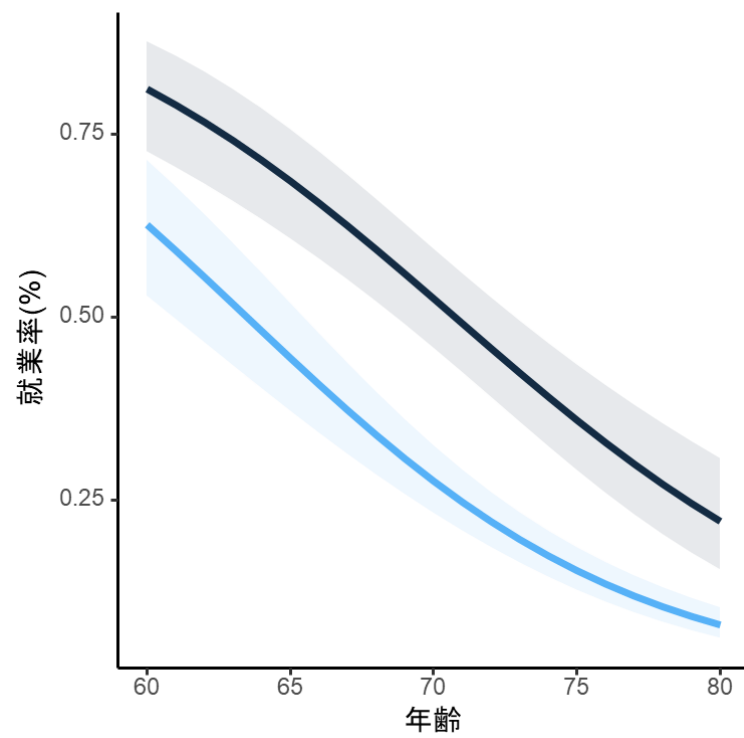


図 12. 総身体活動量・年齢別の推定就業率(上)と年齢別のオッズ比(下)
 青が 2000METs*分/日未満、黒が 2000METs*分/日以上

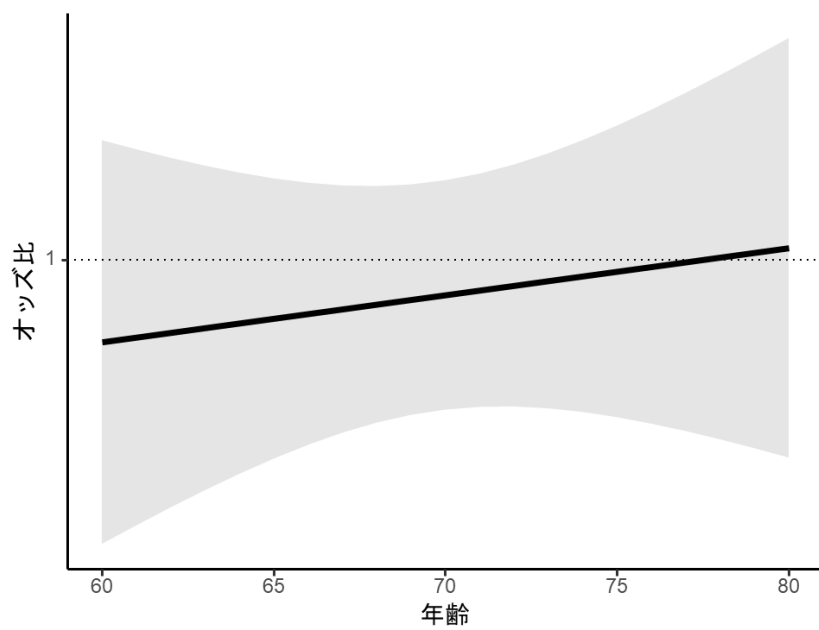
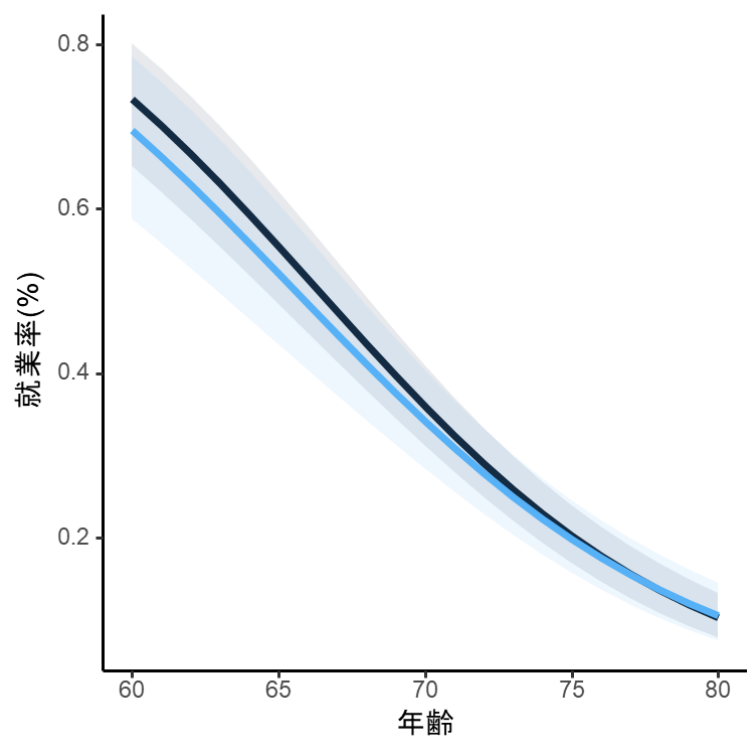


図 13. 収縮期血圧・年齢別の推定就業率(上)と年齢別のオッズ比(下)
 青が収縮期血圧 130mmHg 以上、黒が 130mmHg 未満

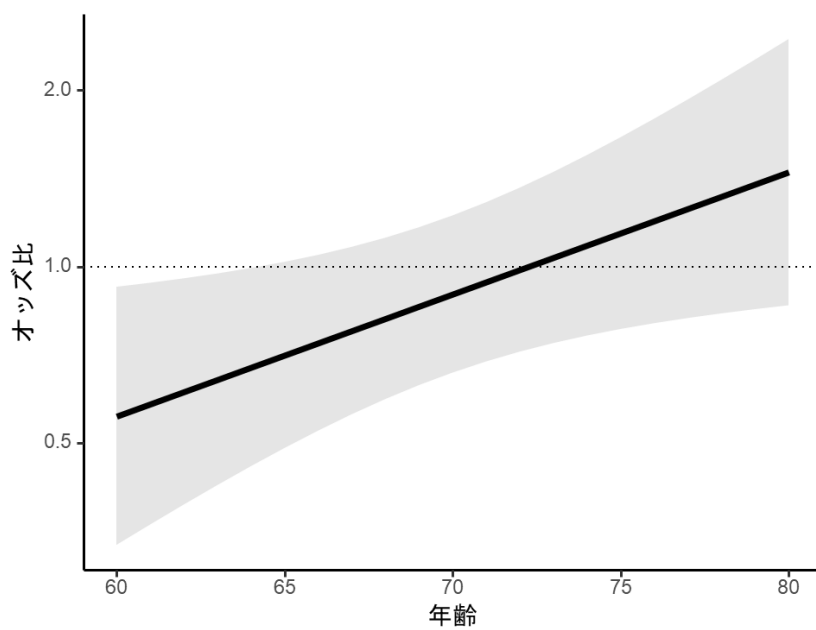
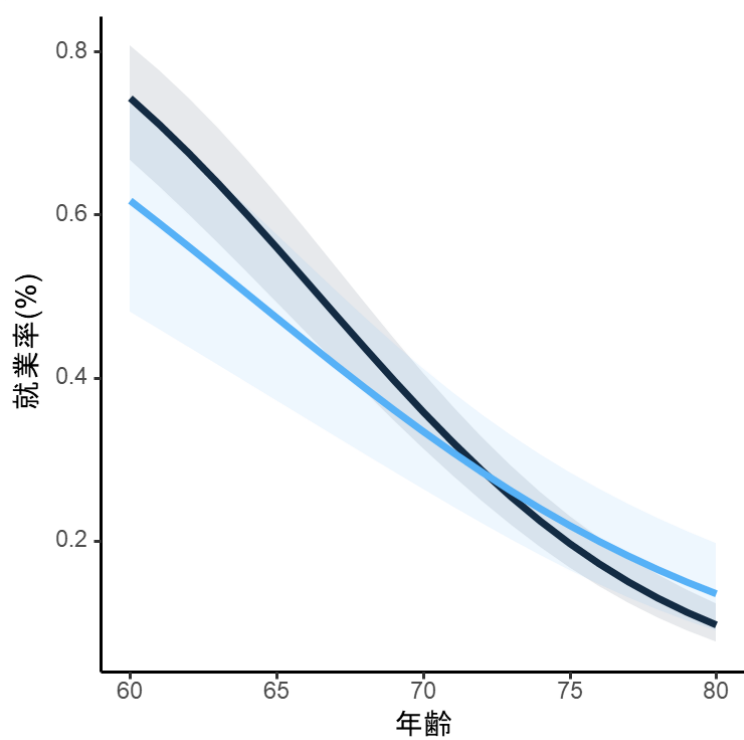


図 14. 拡張期血圧・年齢別の推定就業率(上)と年齢別のオッズ比(下)
 青が拡張期血圧 85mmHg 以上、黒が 85mmHg 未満

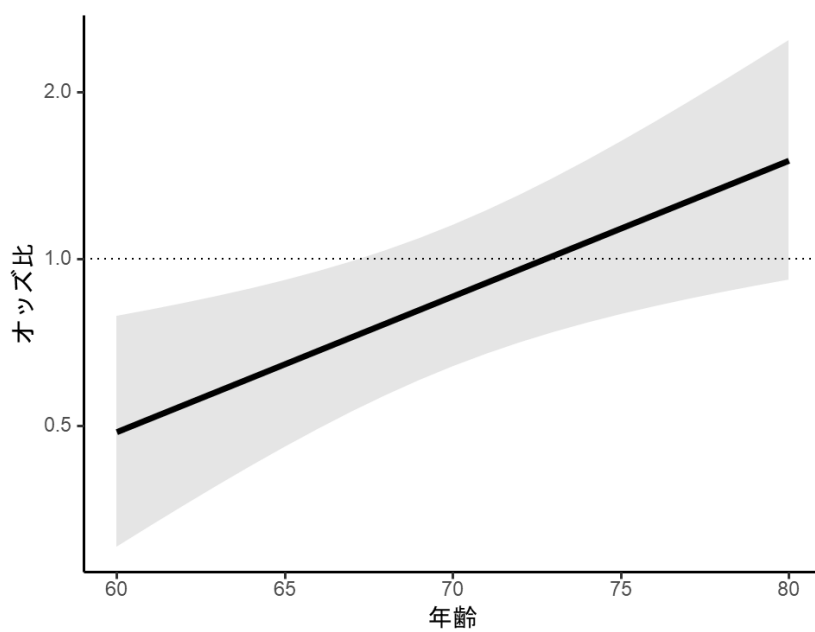
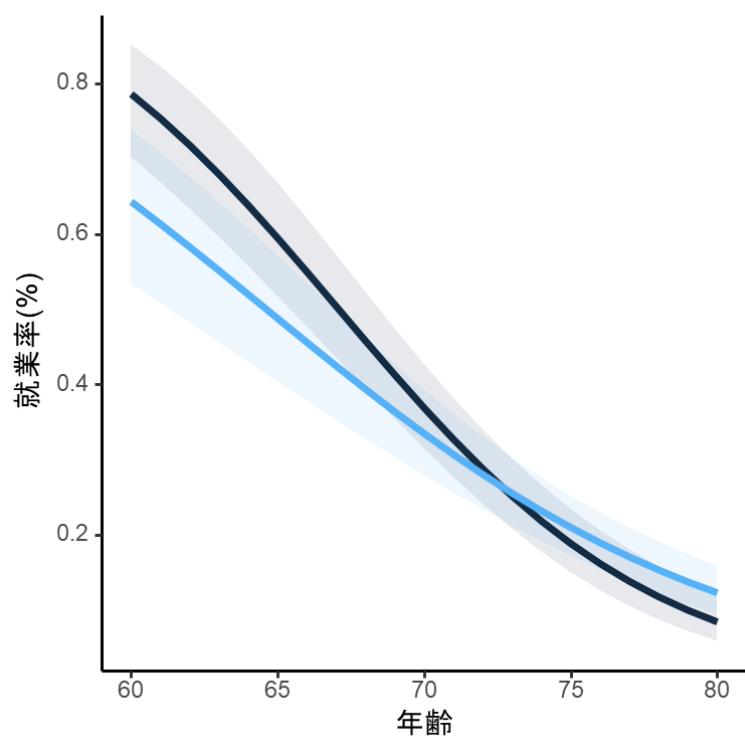


図 15. 総エネルギー摂取量・年齢別の推定就業率(上)と年齢別のオッズ比(下)
青が 2000kcal 未満、黒が 2000kcal 以上

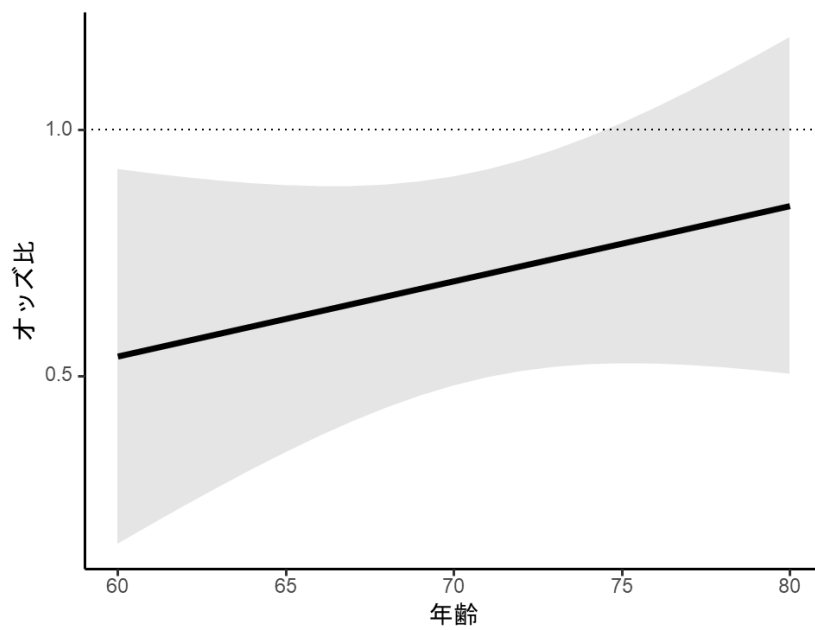
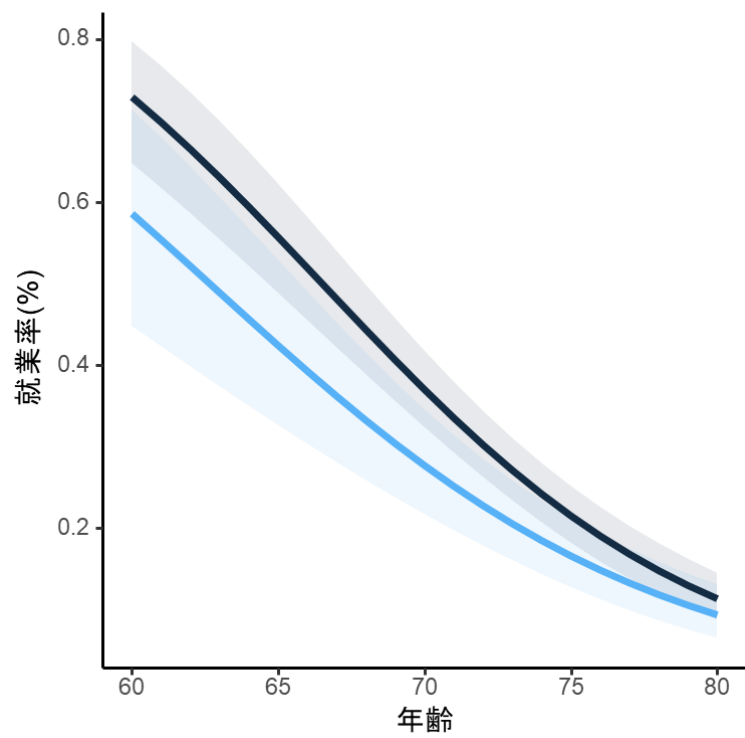


図 16. 激しい運動・年齢別の推定就業者率(上)と年齢別のオッズ比(下)
青がとても困難、黒が困難ではない

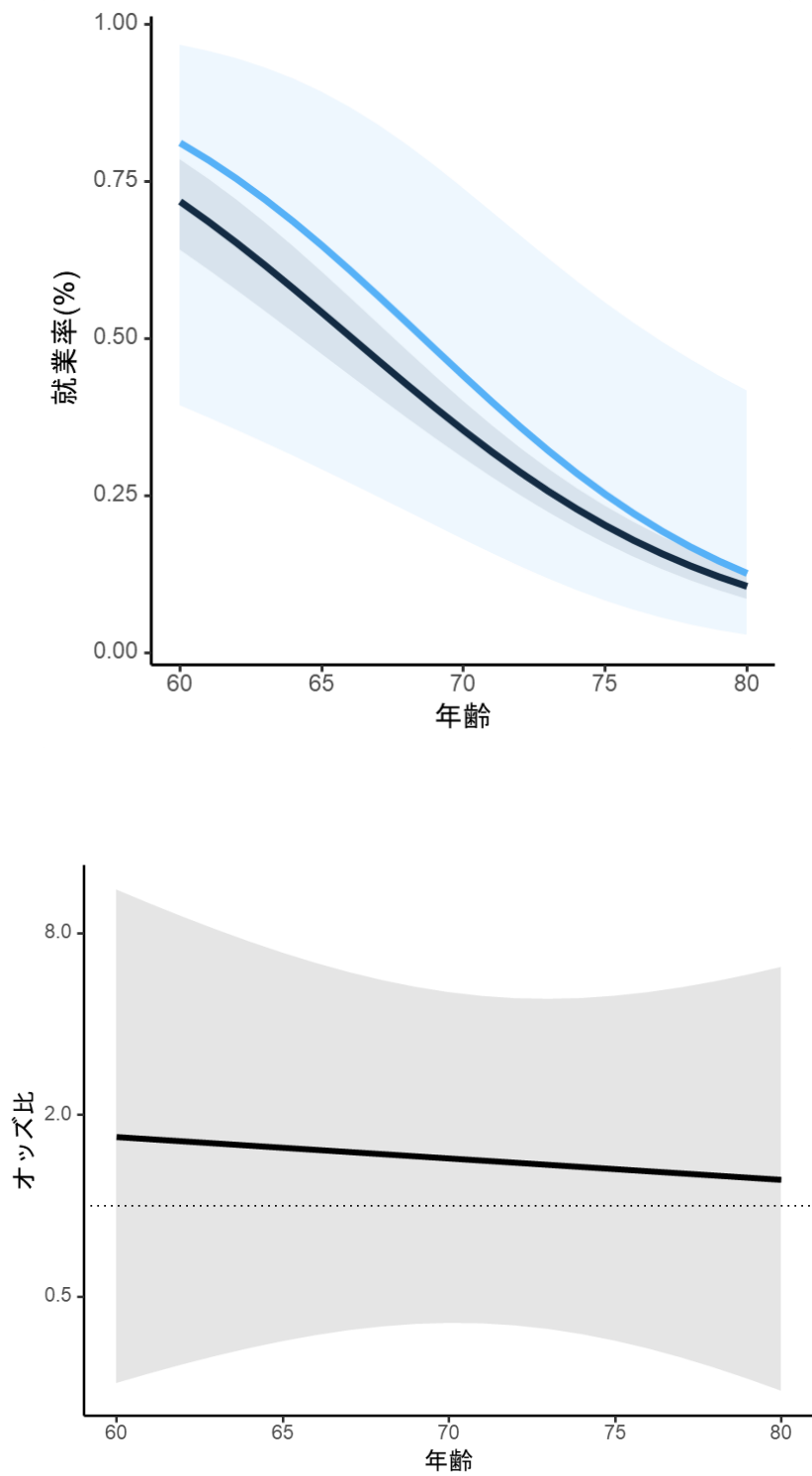


図 17. 適度な運動・年齢別の推定就業率(上)と年齢別のオッズ比(下)
青がとても困難、黒が困難ではない

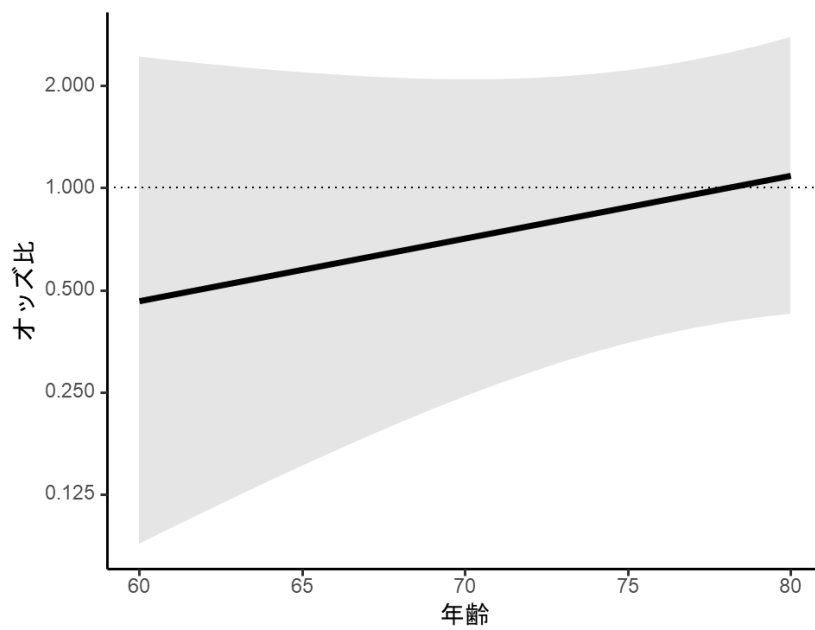
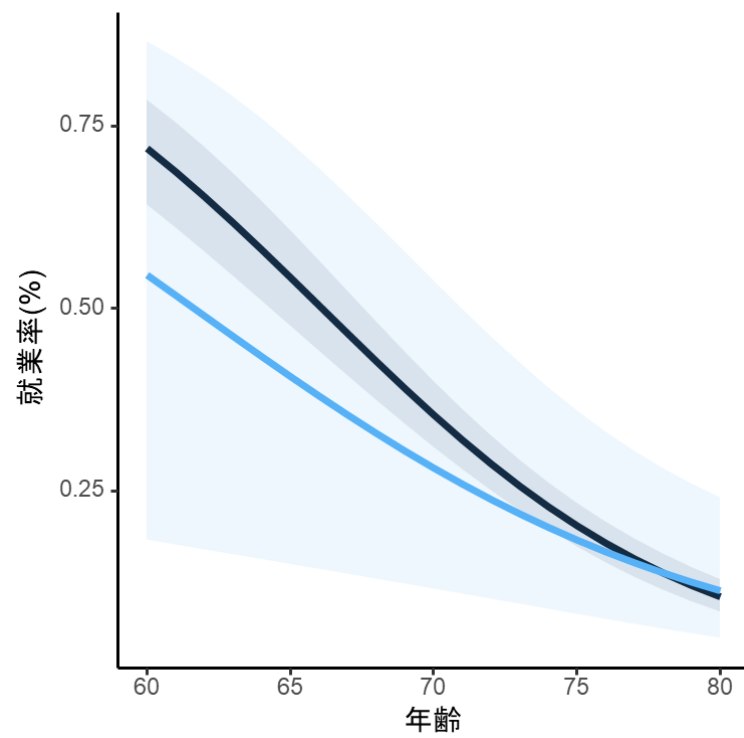


図 18. 少し重い荷物を運ぶ・年齢別の推定就業率(上)と年齢別のオッズ比(下)
青がとても困難、黒が困難ではない

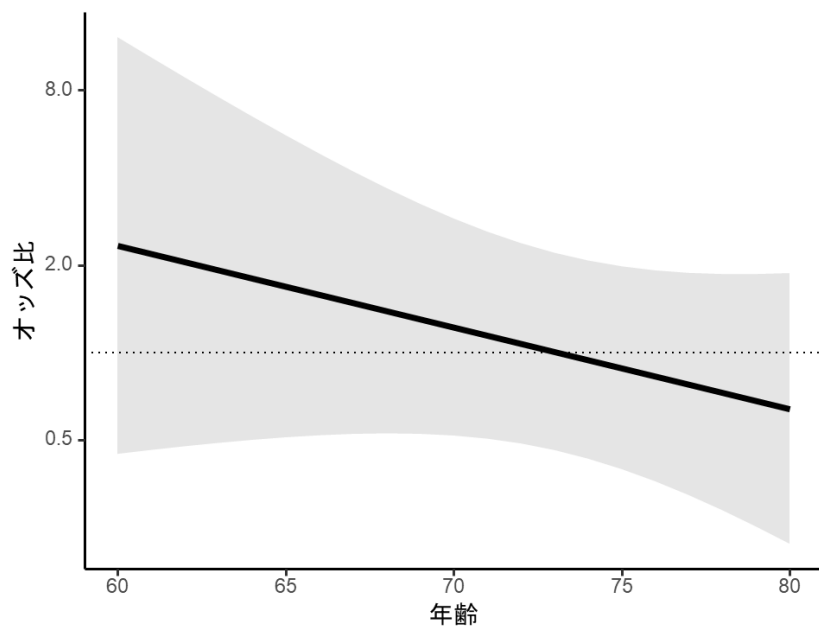
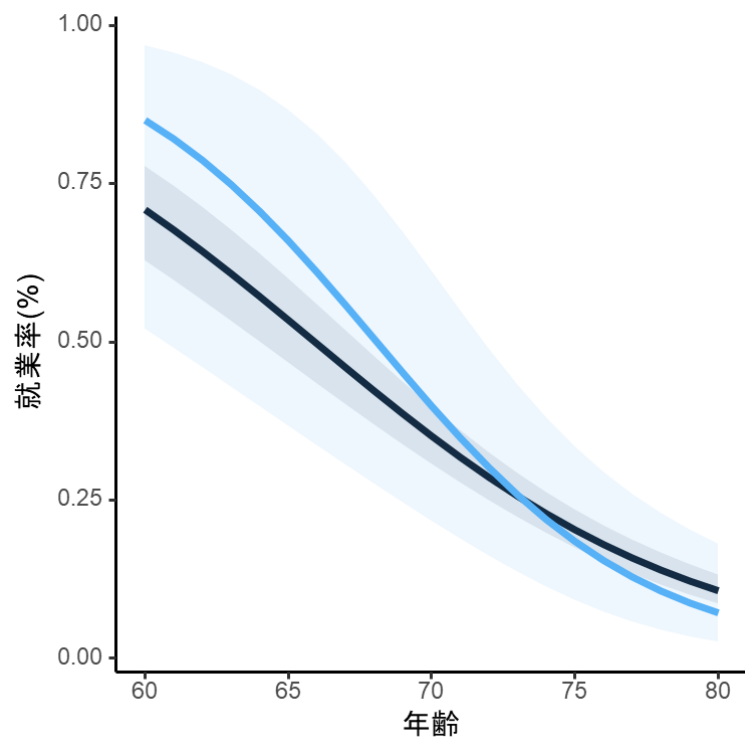


図 19. 階段を数階上まで登る・年齢別の推定就業率(上)と年齢別のオッズ比(下)
青がとても困難、黒が困難ではない

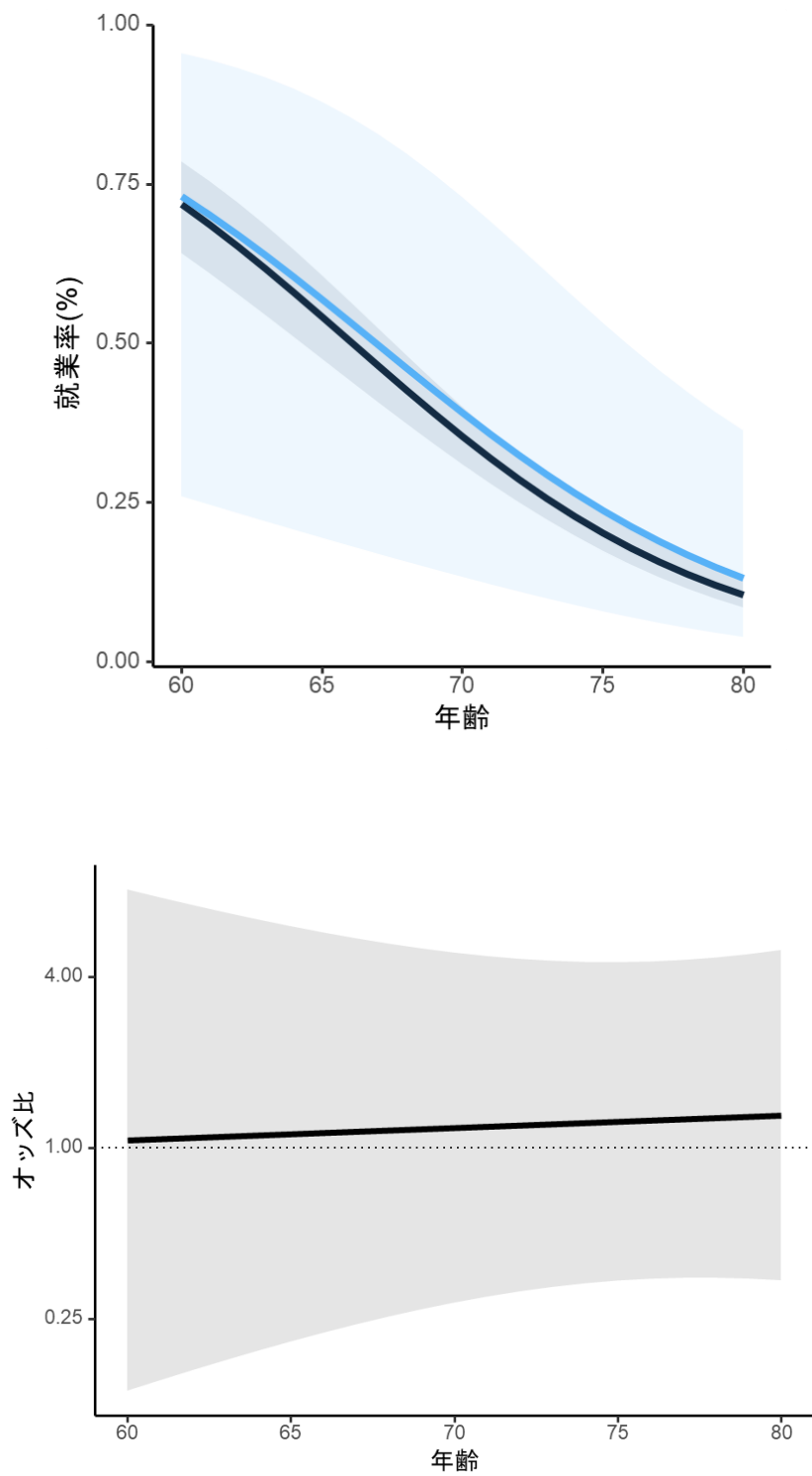


図 20. 階段を1階上まで登る・年齢別の推定就業率(上)と年齢別のオッズ比(下)
青がとても困難、黒が困難ではない

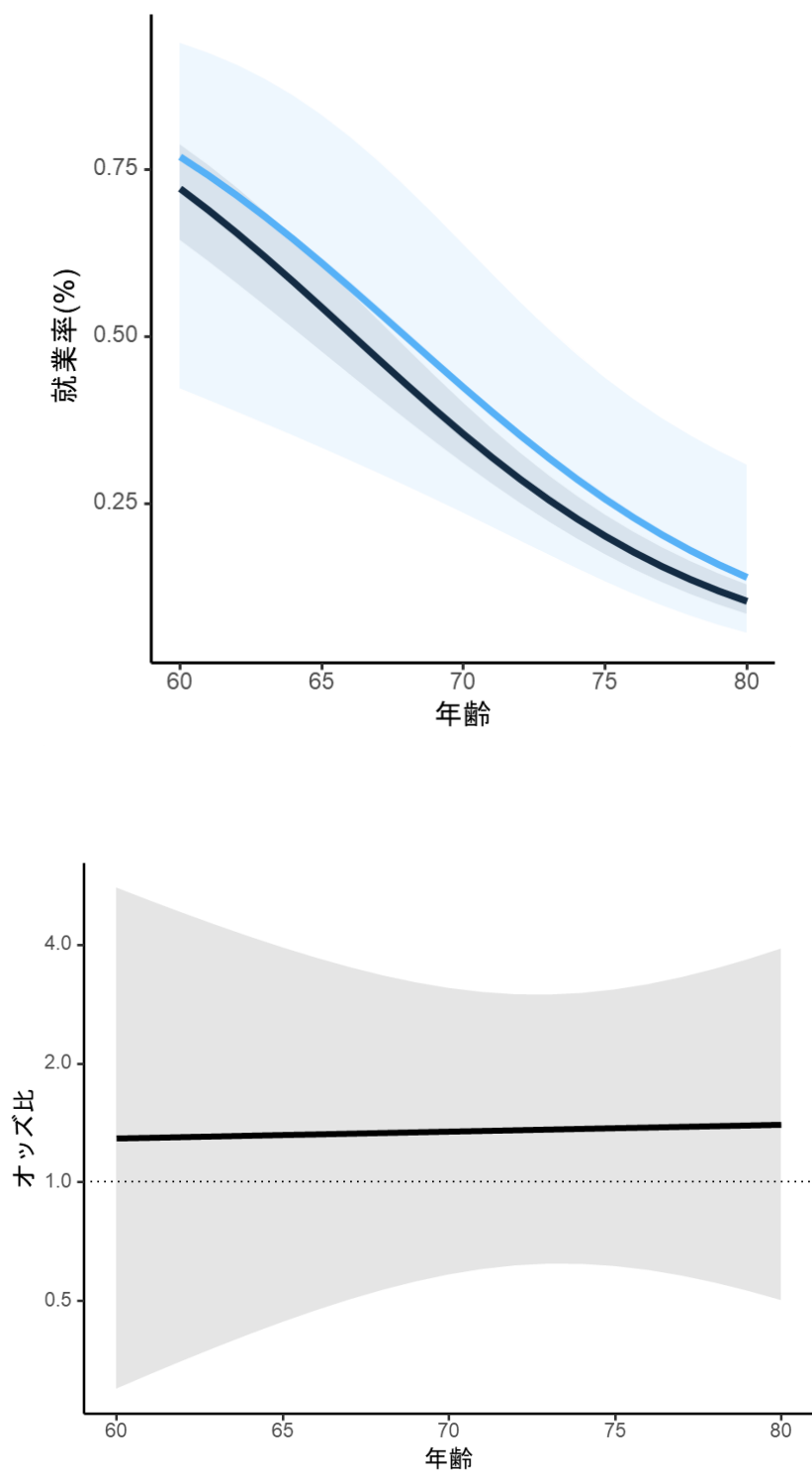


図 21. 体を前に曲げる・年齢別の推定就業率(上)と年齢別のオッズ比(下)
青がとても困難、黒が困難ではない

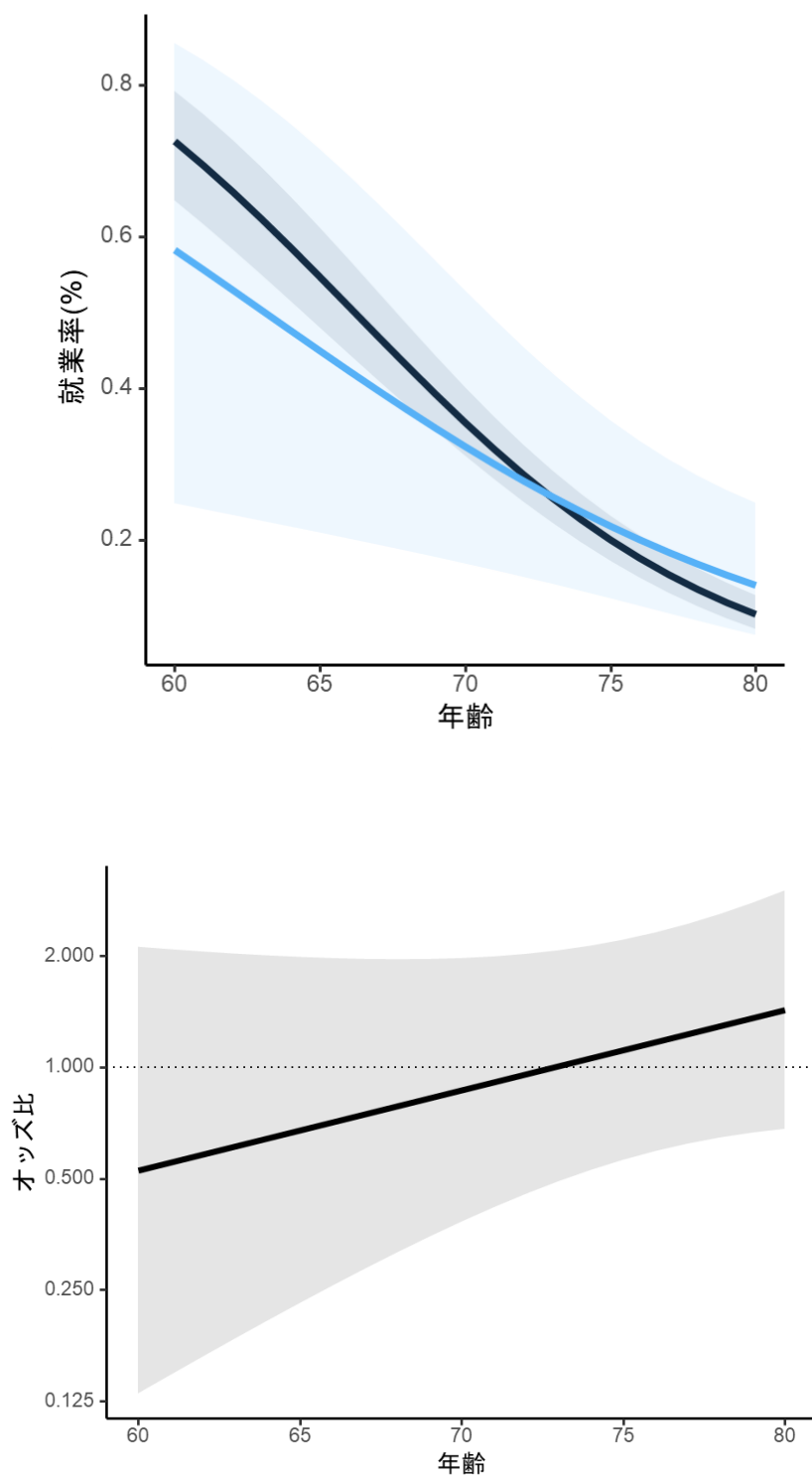


図 22. 1キロ以上歩く・年齢別の推定就業率(上)と年齢別のオッズ比(下)
青がとても困難、黒が困難ではない

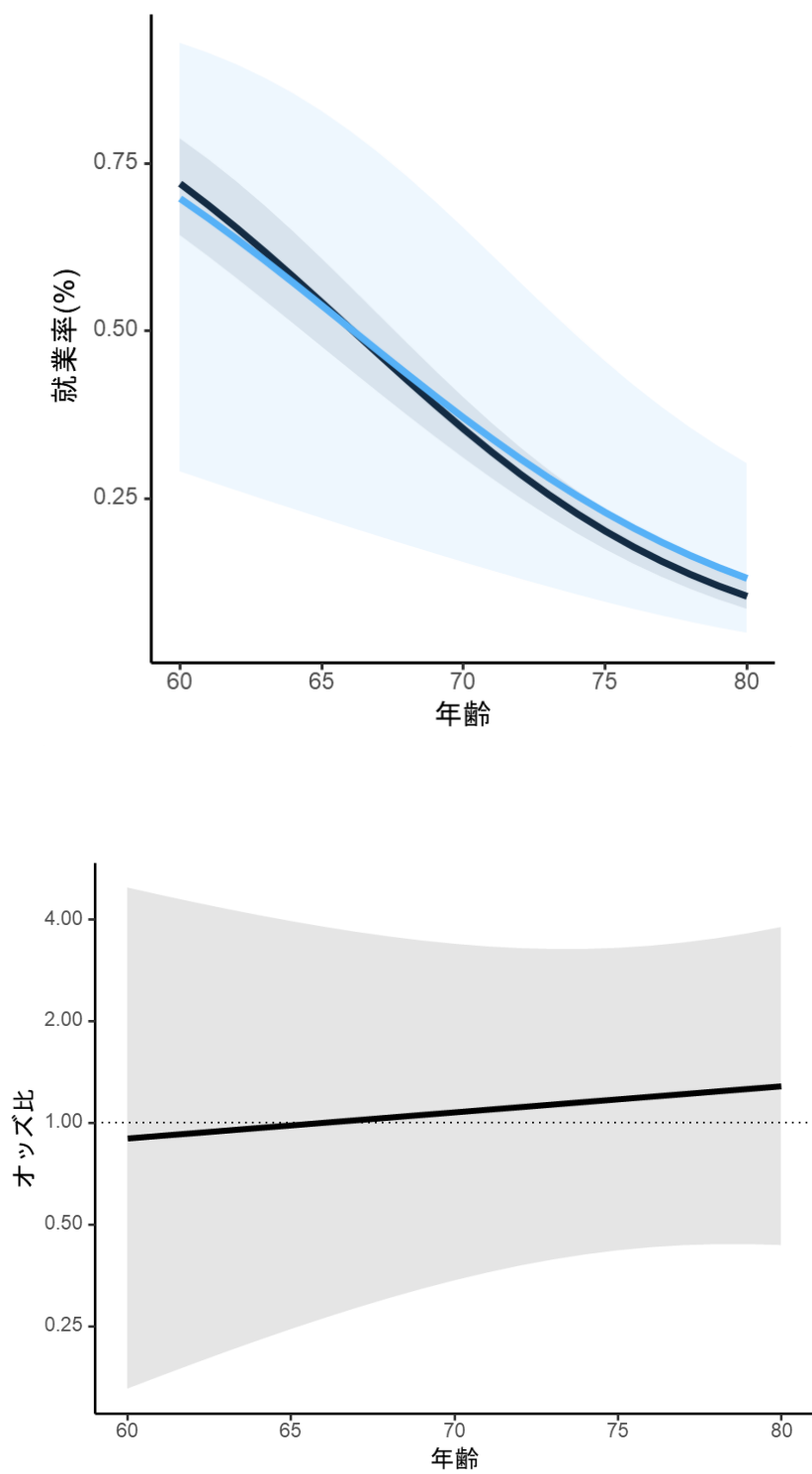


図 23. 数百メートル以上歩く・年齢別の推定就業率(上)と年齢別のオッズ比(下)
青がとても困難、黒が困難ではない

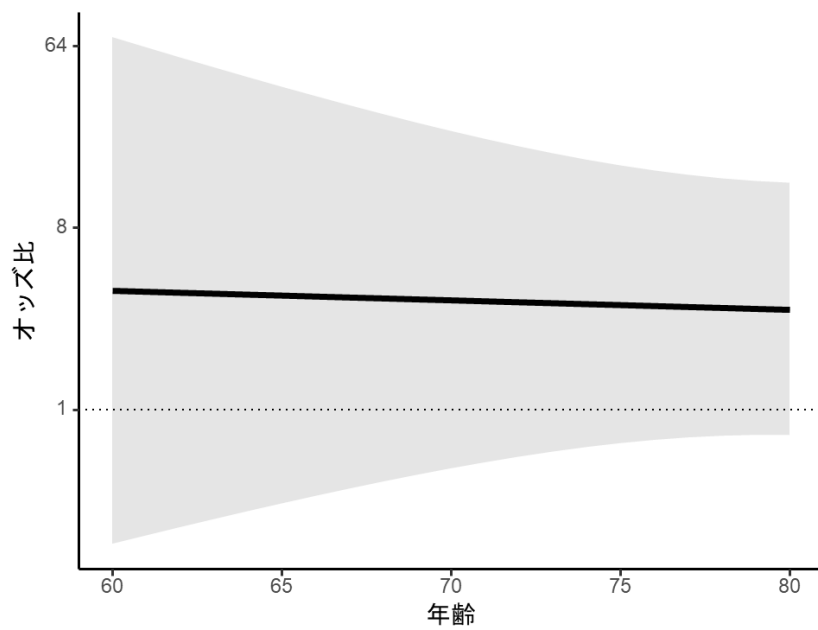
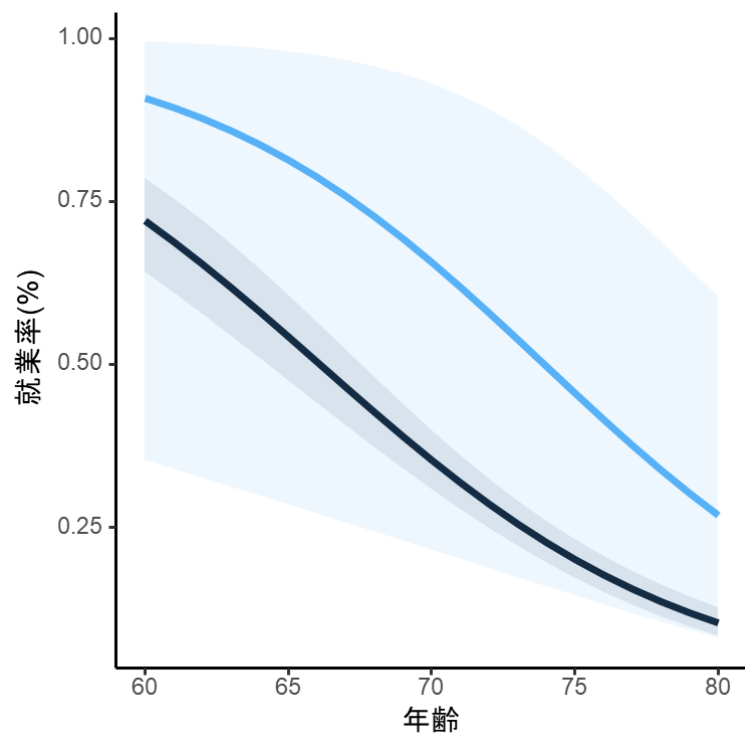


図 24. 百メートル以上歩く・年齢別の推定就業率(上)と年齢別のオッズ比(下)
青がとても困難、黒が困難ではない

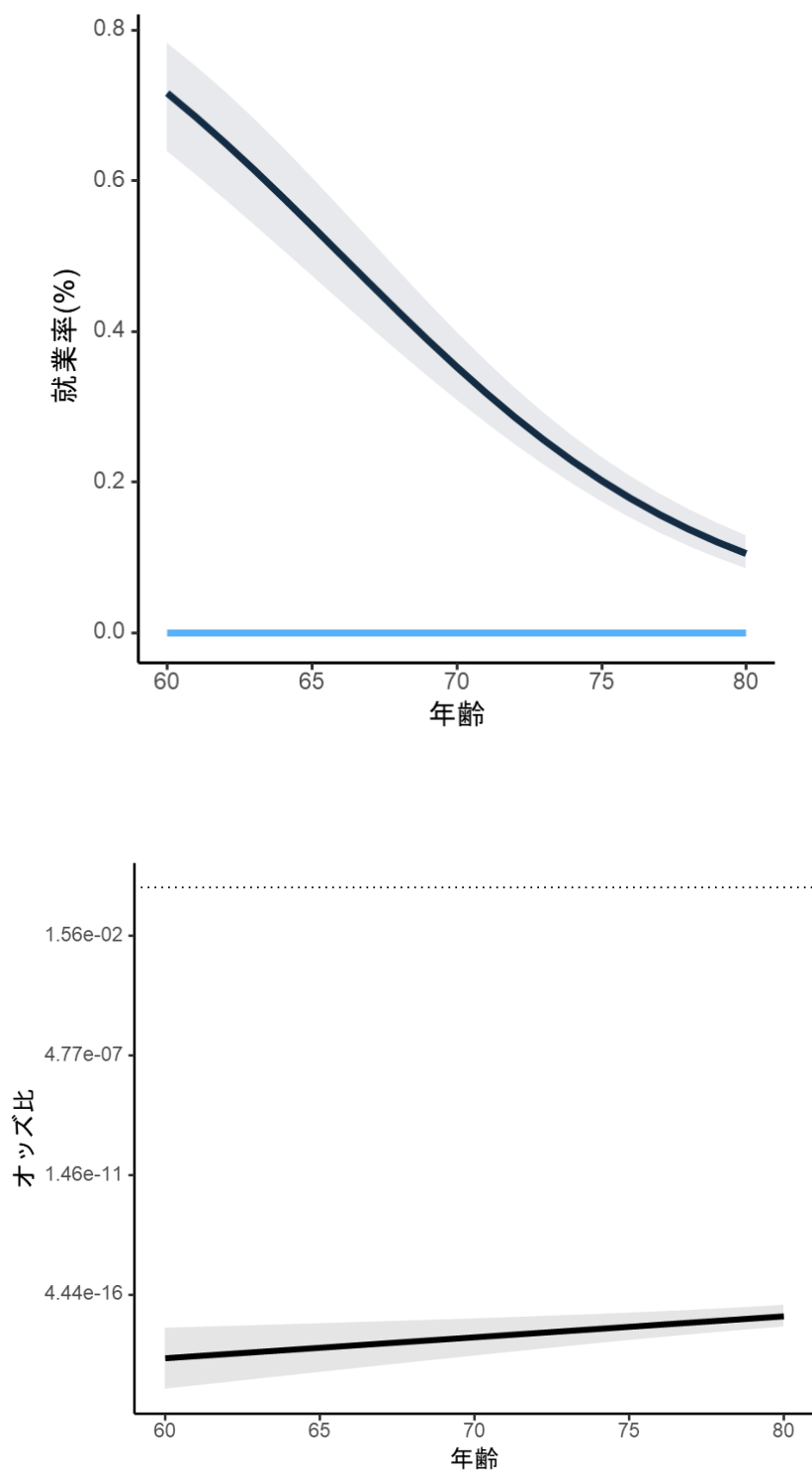


図 25. 入浴・着替え・年齢別の推定就業率(上)と年齢別のオッズ比(下)
 青がとても困難、黒が困難ではない

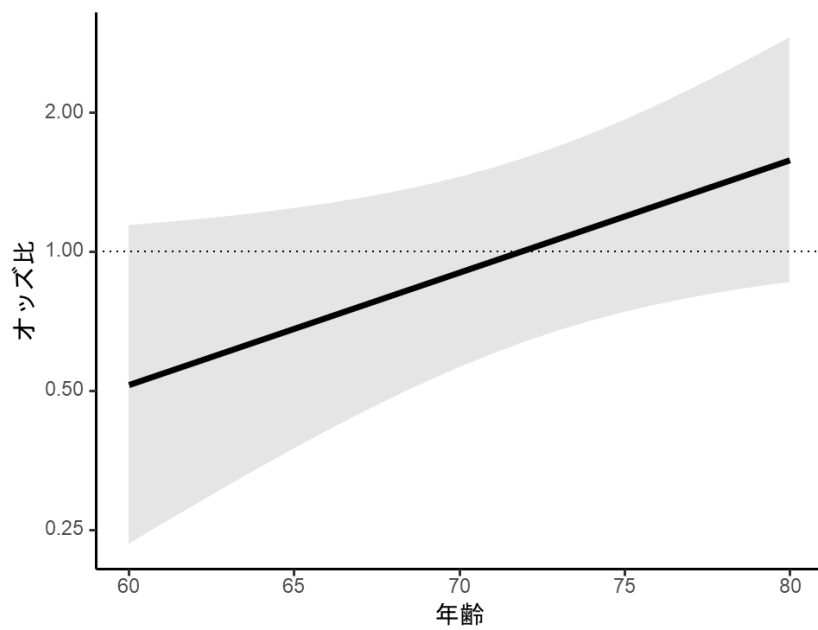
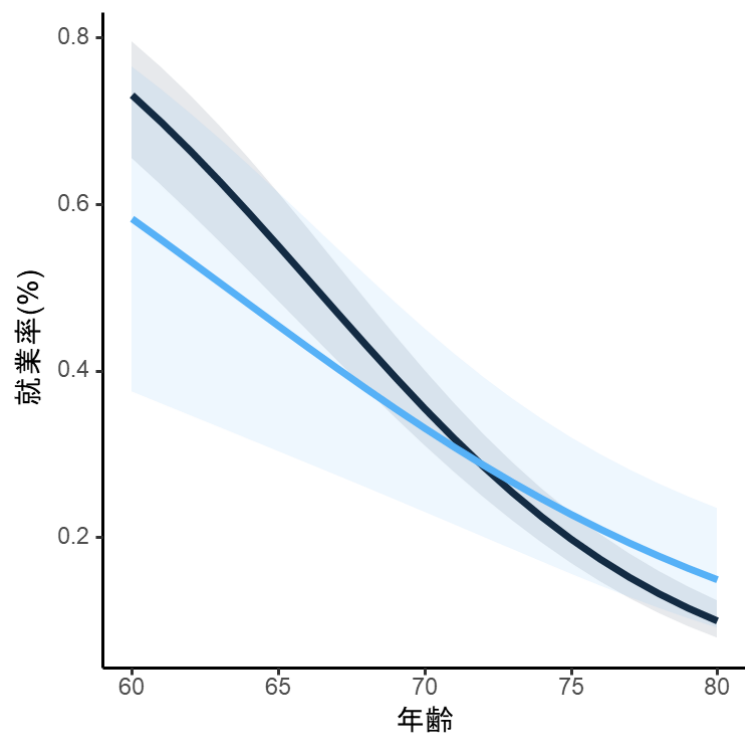


図 26. 正座をする・年齢別の推定就業率(上)と年齢別のオッズ比(下)
青が困難、黒が困難ではない

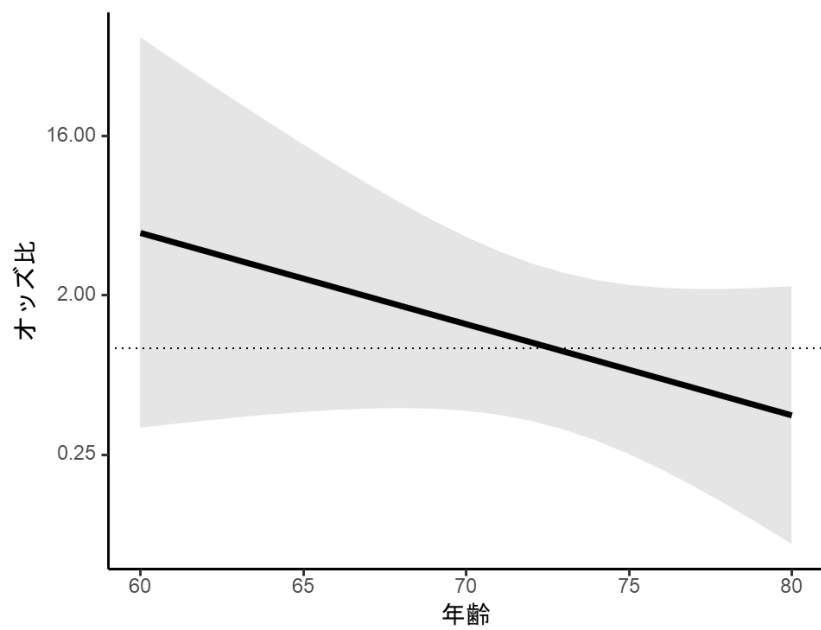
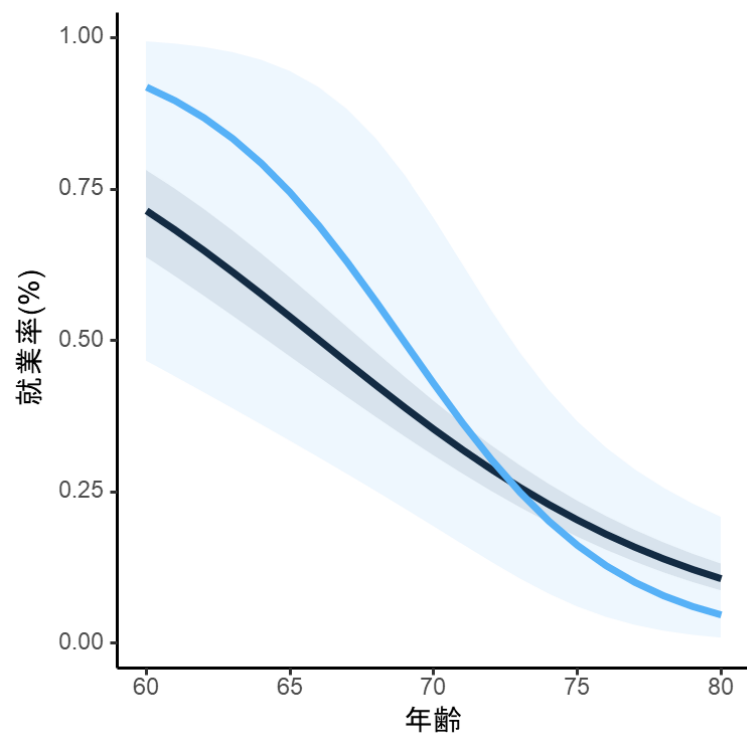


図 27. 膝の手術・年齢別の推定就業率(上)と年齢別のオッズ比(下)
青があり、黒がなし

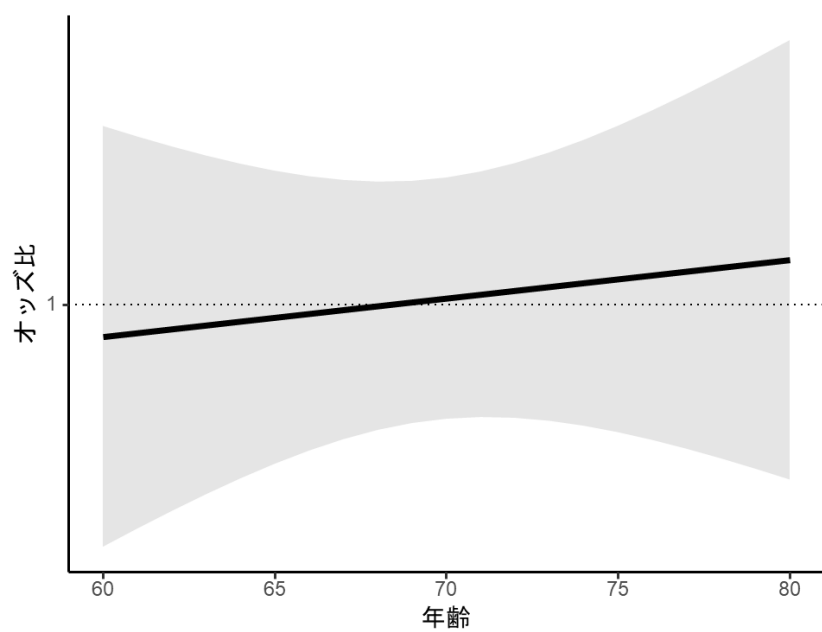
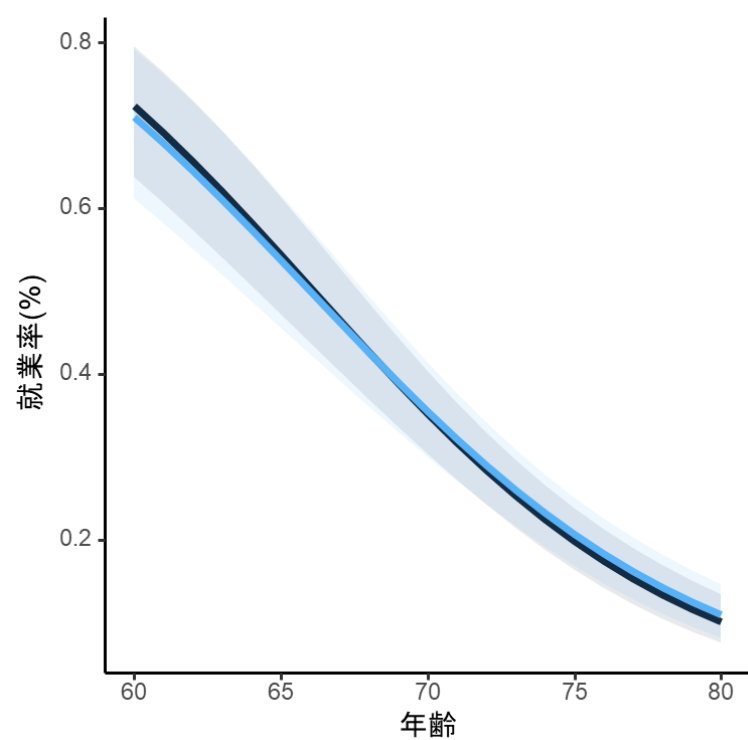


図 28. 右膝の痛み・年齢別の推定就業率(上)と年齢別のオッズ比(下)
青があり、黒がなし

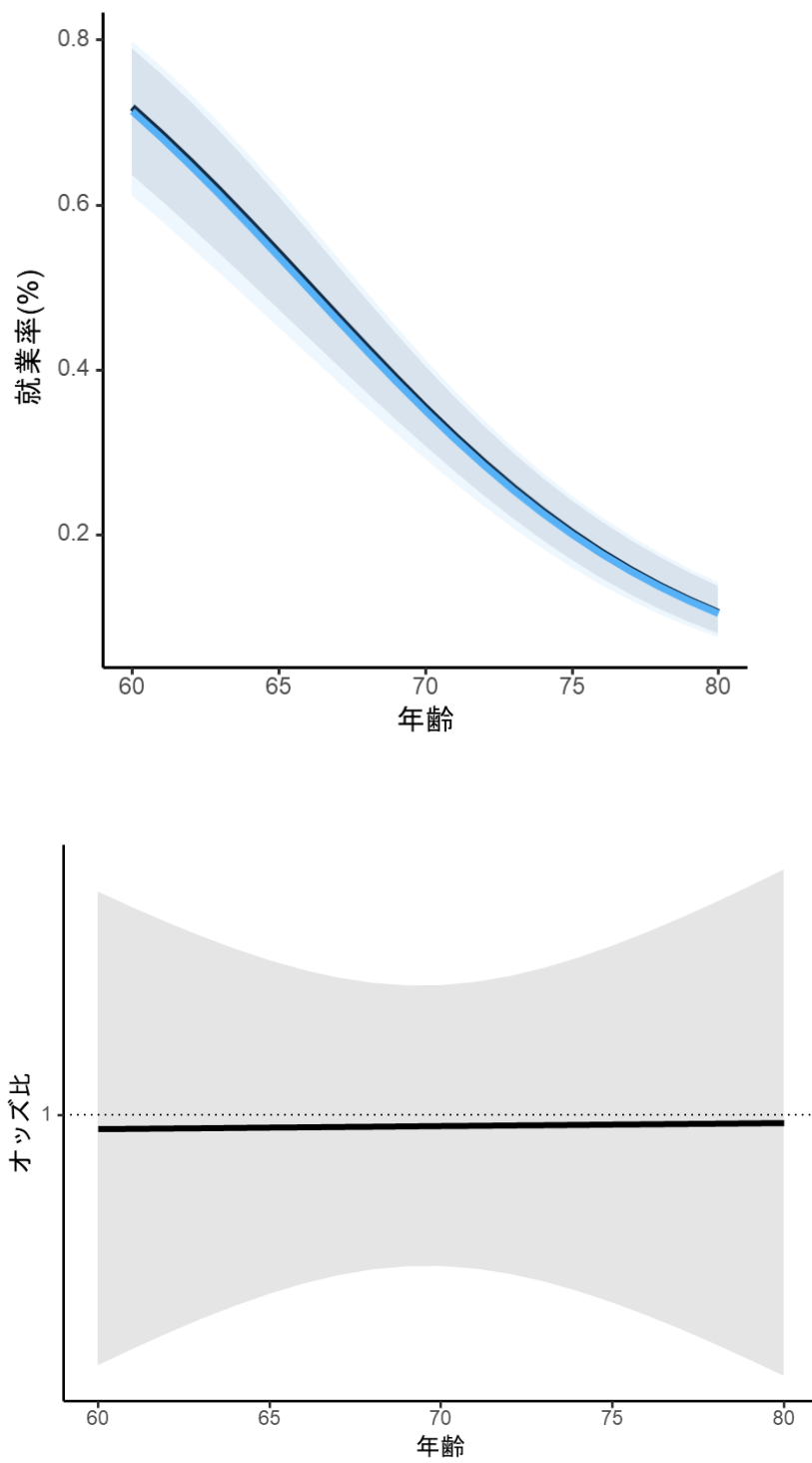


図 29. 左膝の痛み・年齢別の推定就業率(上)と年齢別のオッズ比(下)
青があり、黒がなし

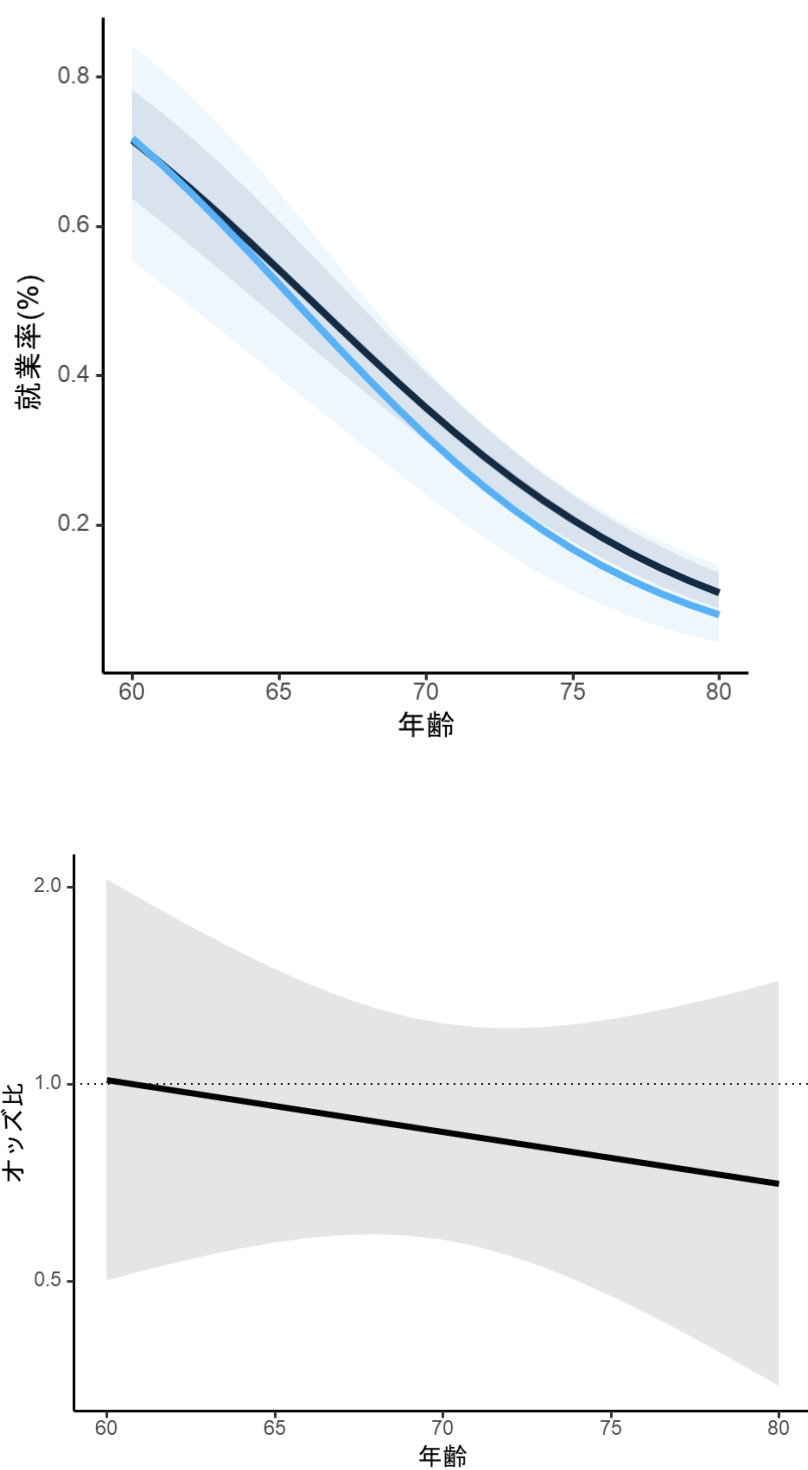


図 30. 自分の視力・年齢別の推定就業率(上)と年齢別のオッズ比(下)
青が悪い、黒が悪くない

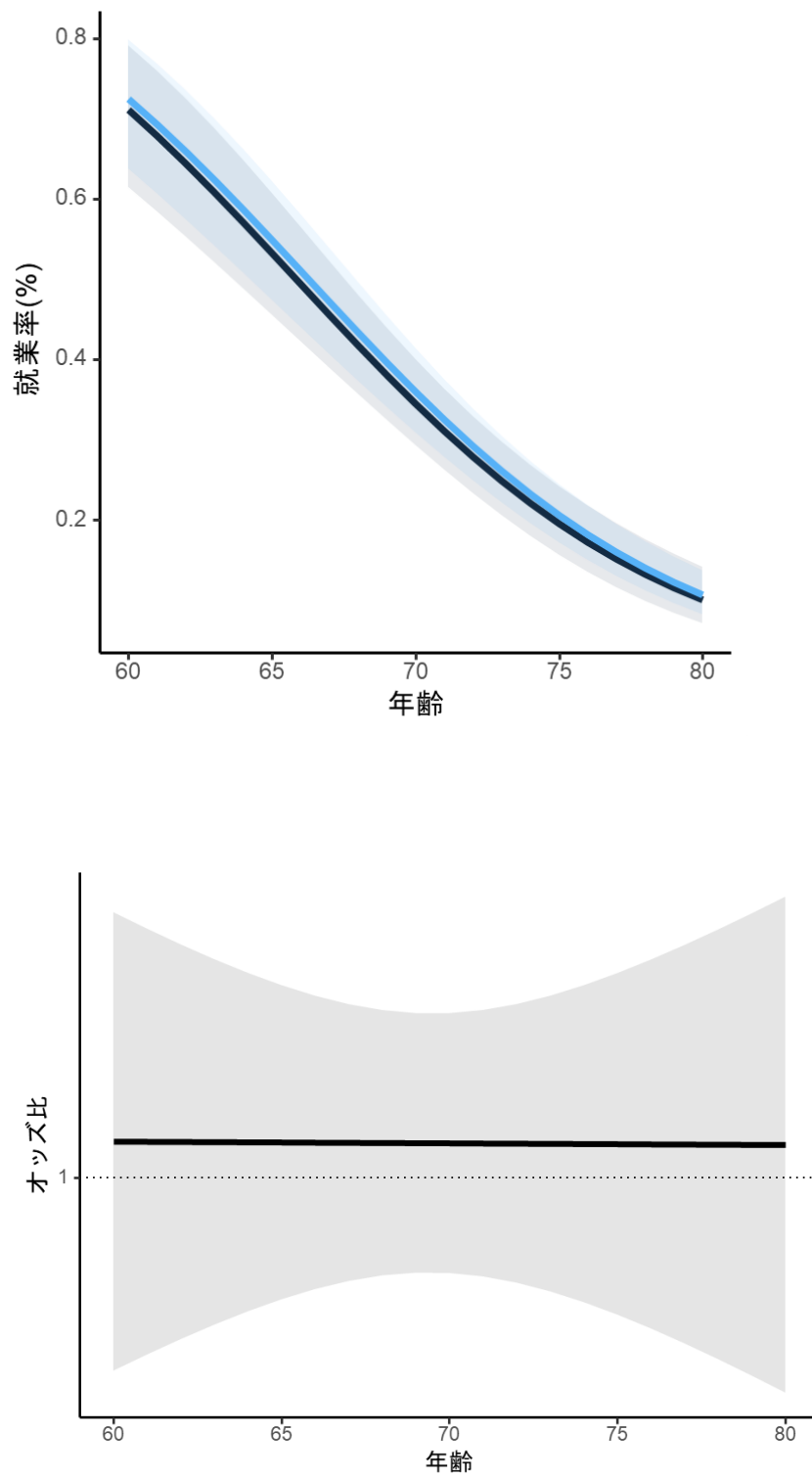


図 31. 自分の聞こえ・年齢別の推定就業率(上)と年齢別のオッズ比(下)
 青が悪い、黒が悪くない

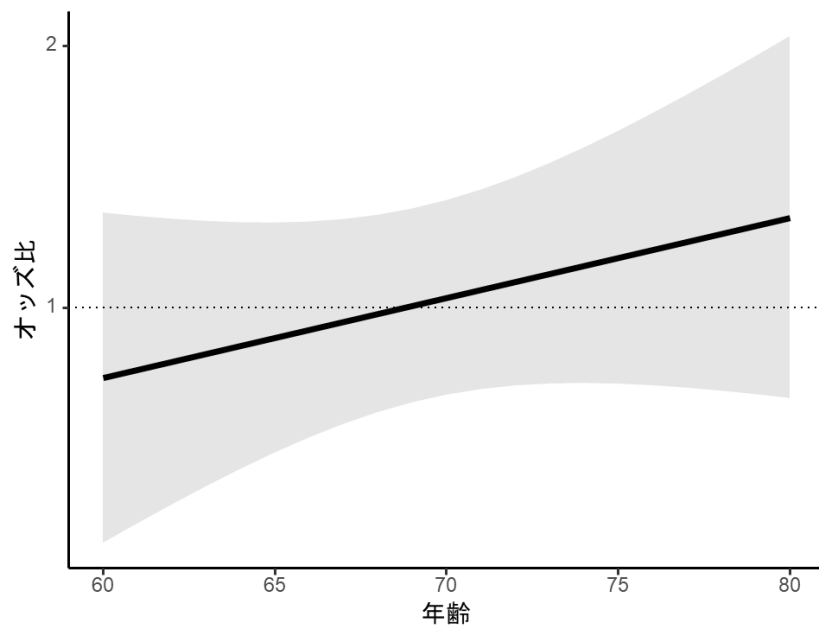
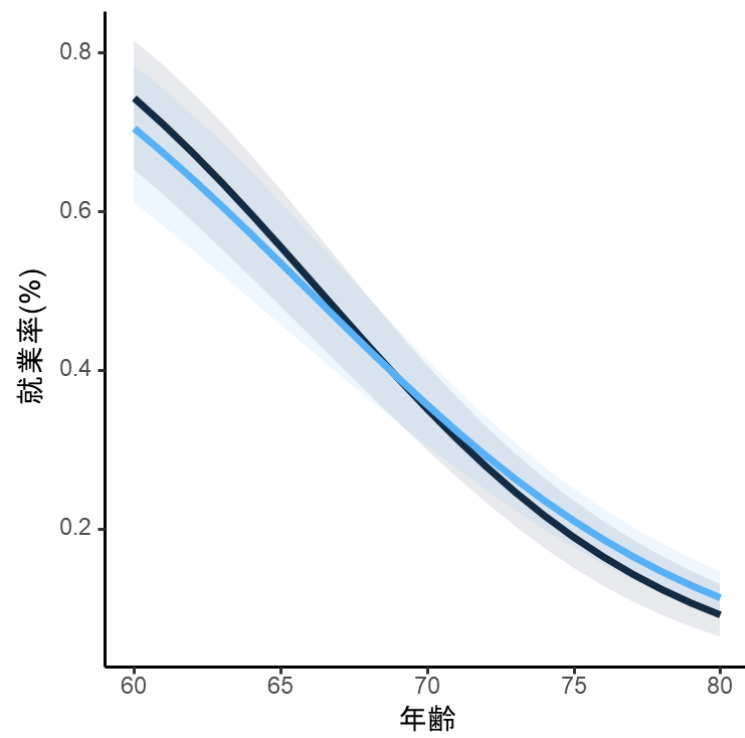


図 32. 転倒恐怖・年齢別の推定就業率(上)と年齢別のオッズ比(下)
青があり、黒がなし

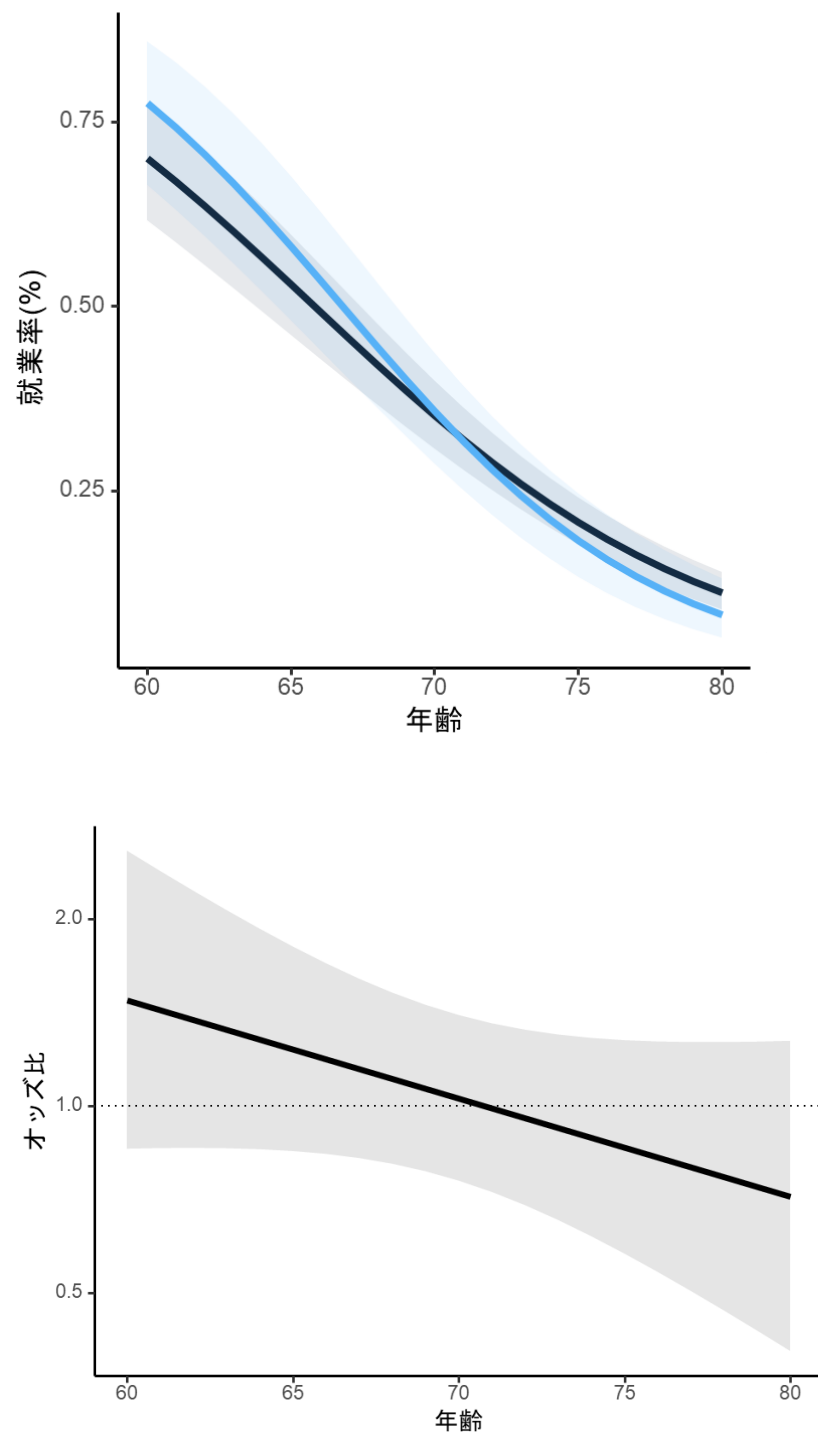


図 33. 転倒既往・年齢別の推定就業率(上)と年齢別のオッズ比(下)
青があり、黒がなし

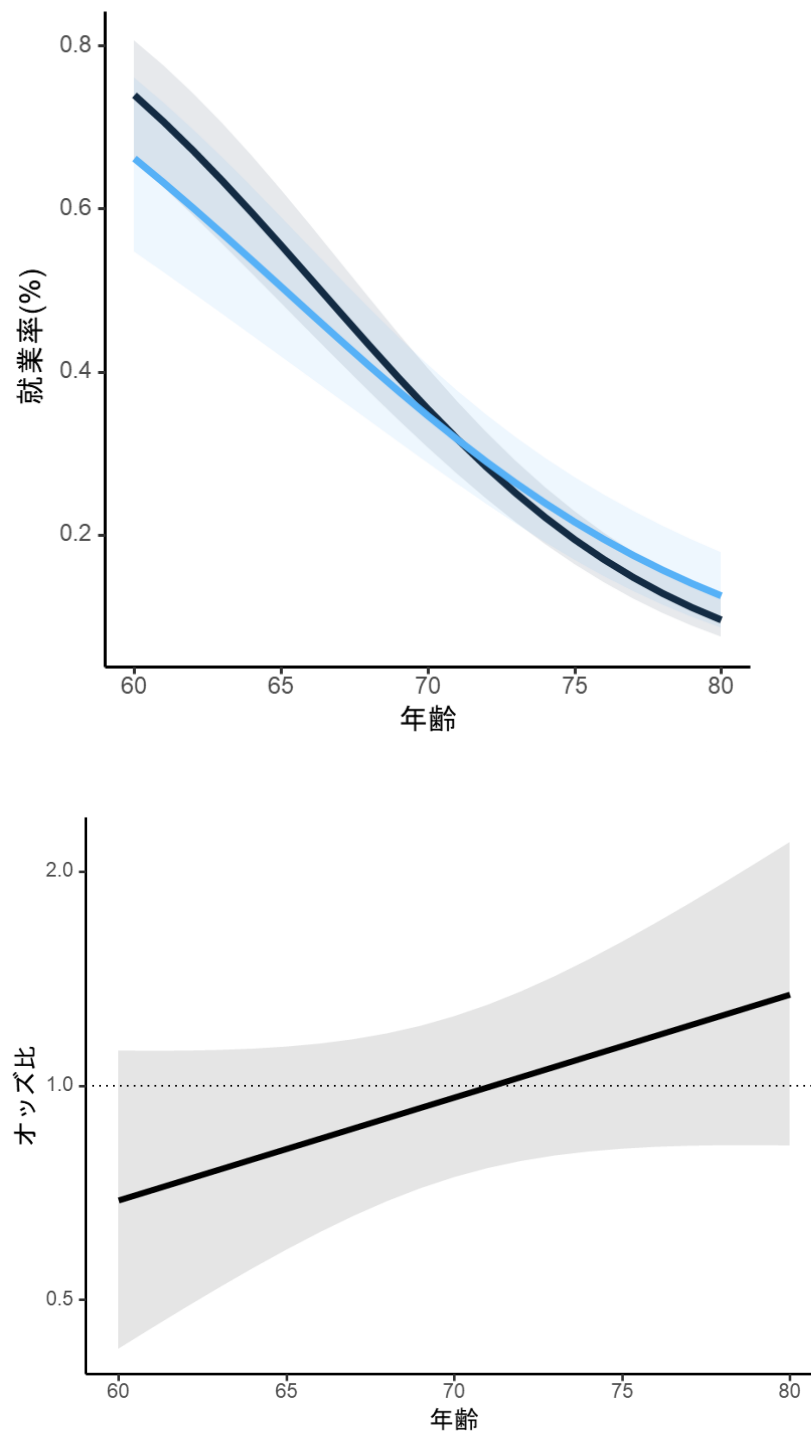


図 34. 残尿感・年齢別の推定就業率(上)と年齢別のオッズ比(下)
青があり、黒がなし

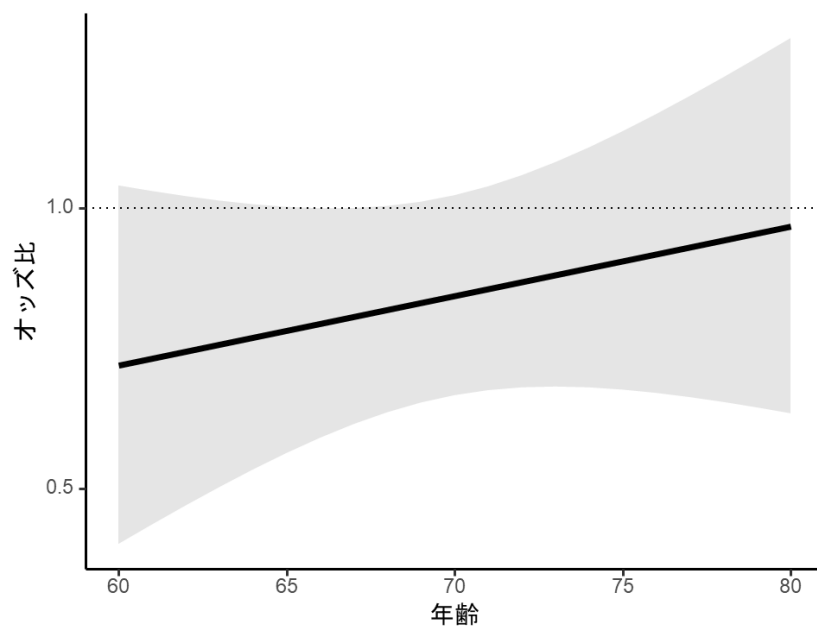
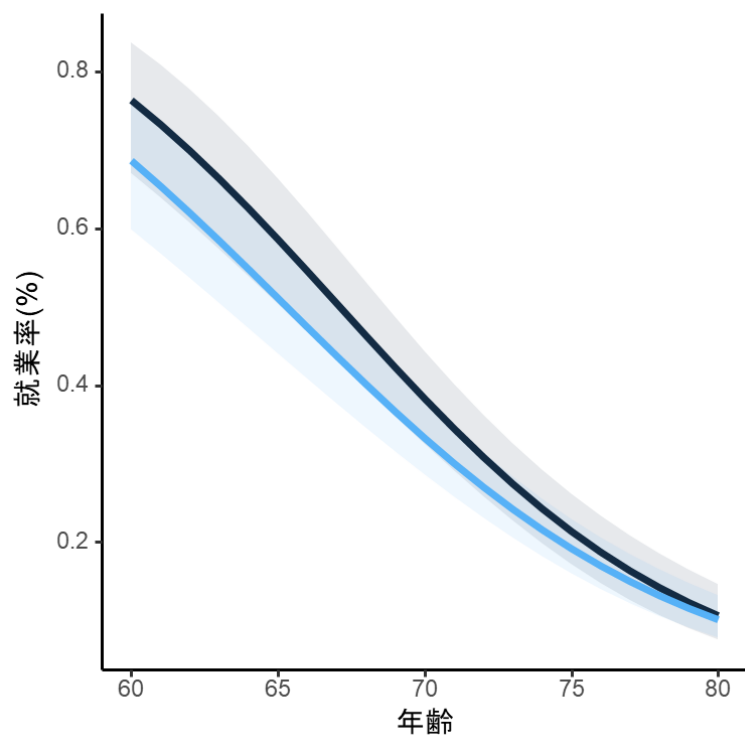


図 35. 頻尿・年齢別の推定就業率(上)と年齢別のオッズ比(下)
青があり、黒がなし

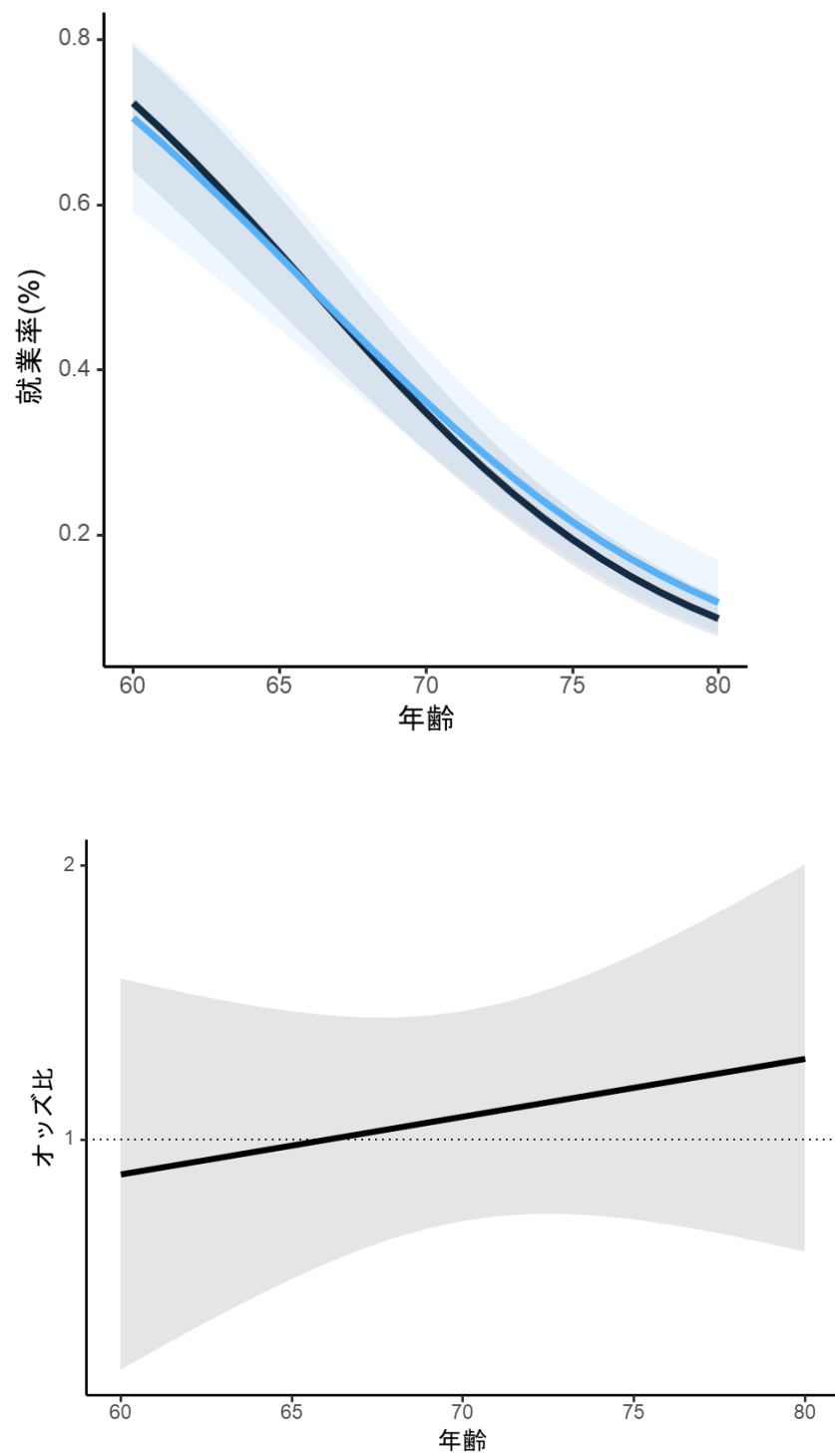


図 36. 尿線途絶・年齢別の推定就業率(上)と年齢別のオッズ比(下)
青があり、黒がなし

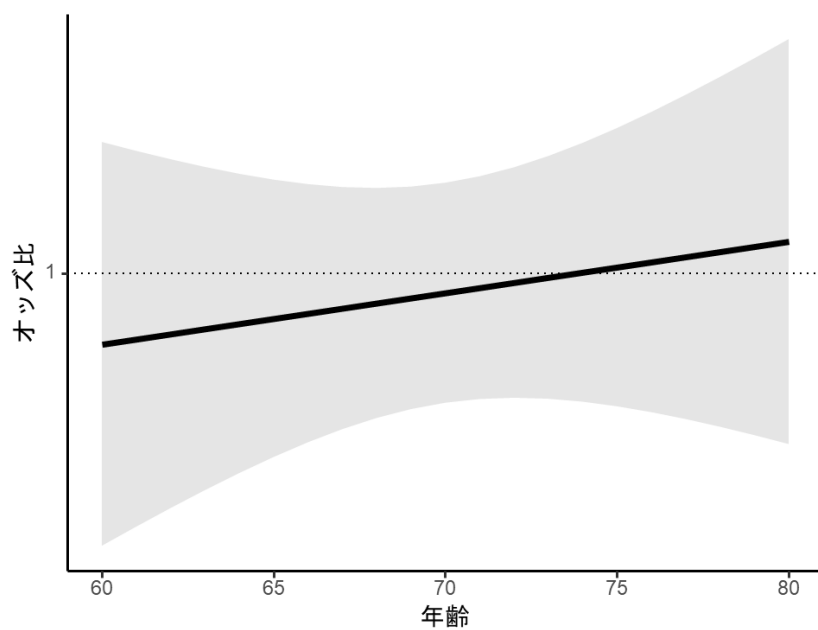
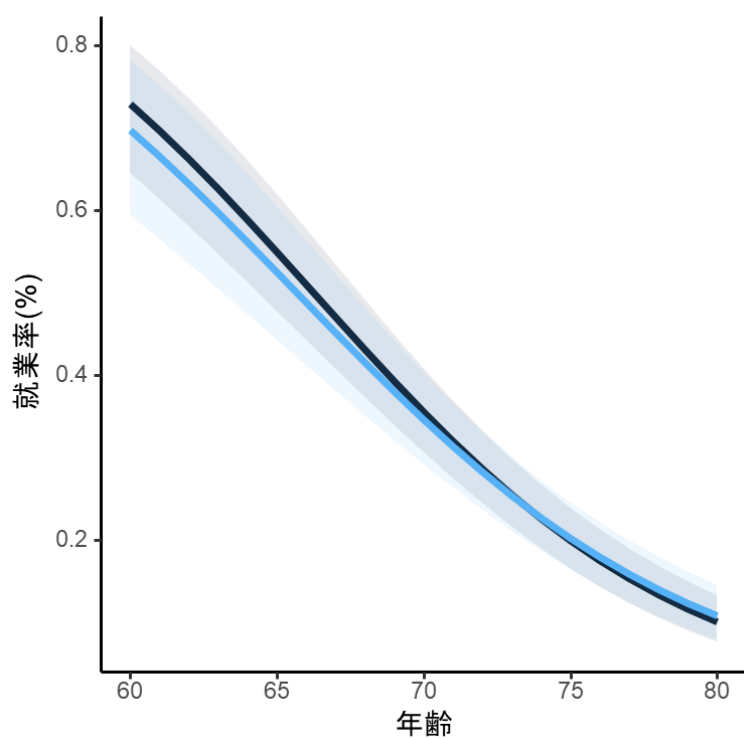


図 37. 尿の我慢がづらい・年齢別の推定就業者率(上)と年齢別のオッズ比(下)
青があり、黒がなし

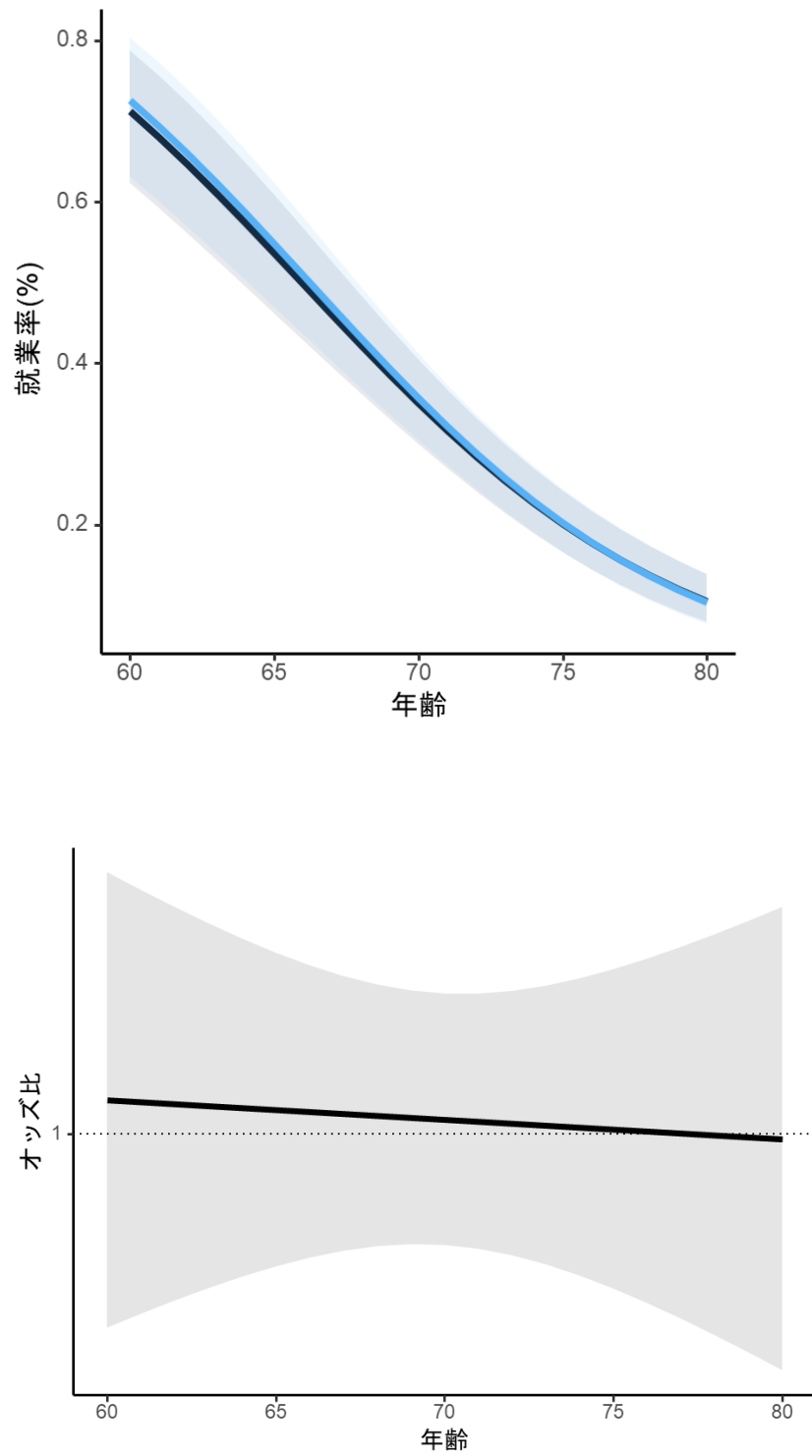


図 38. 尿の勢いが弱い・年齢別の推定就業率(上)と年齢別のオッズ比(下)
青があり、黒がなし

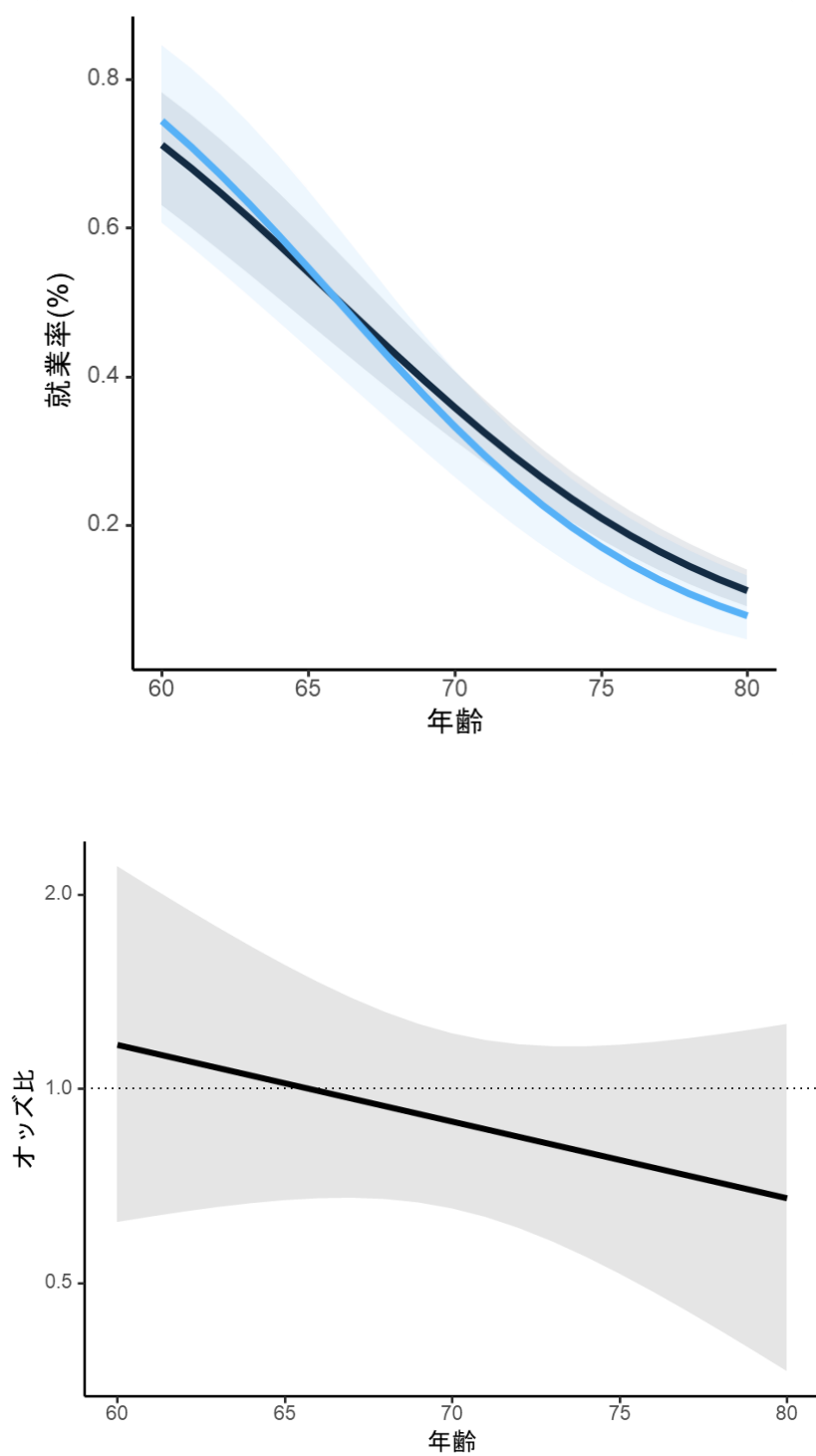


図 39. 排尿開始時にいきむ・年齢別の推定就業率(上)と年齢別のオッズ比(下)
青があり、黒がなし

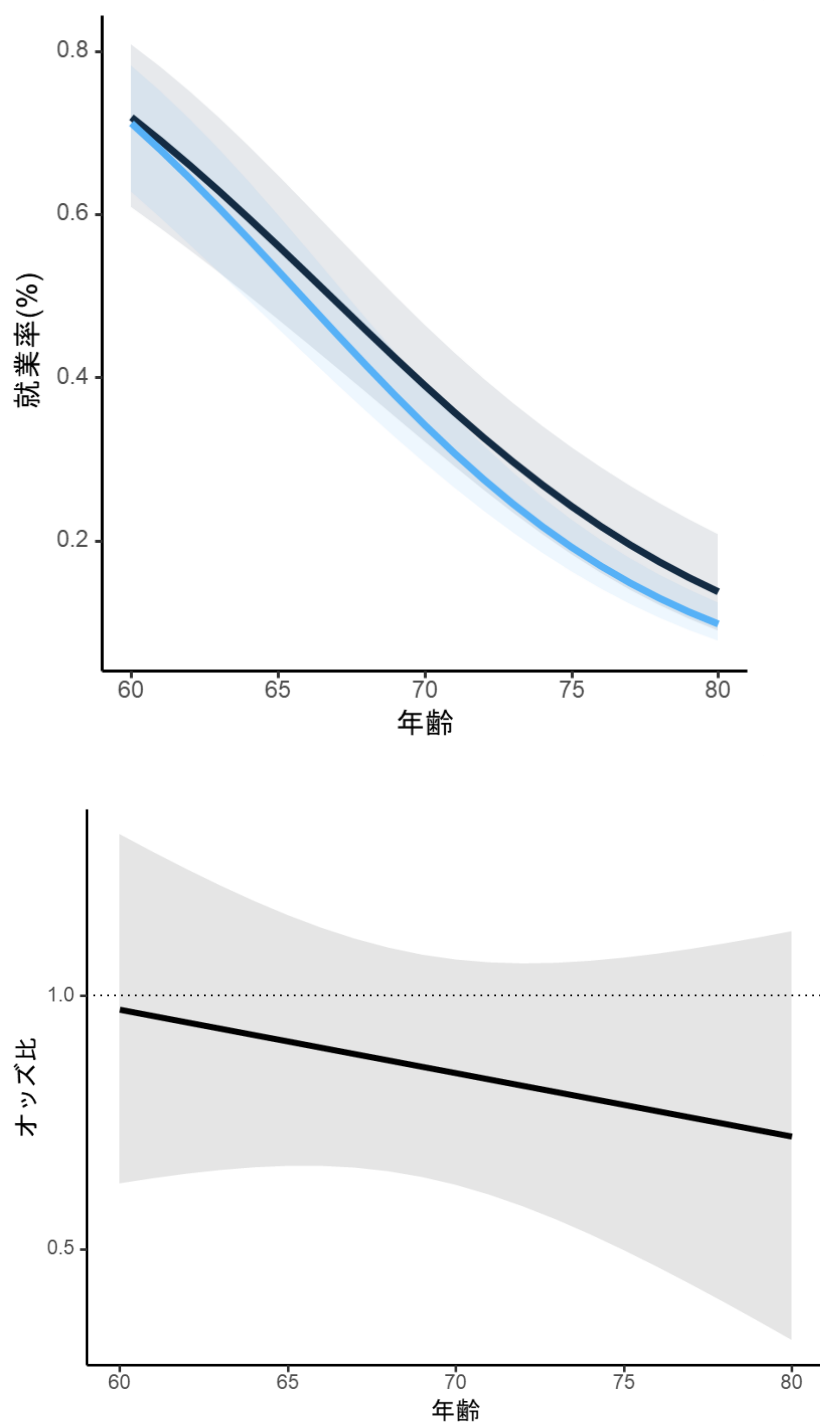


図 40. 夜間排尿・年齢別の推定就業率(上)と年齢別のオッズ比(下)
青があり、黒がなし

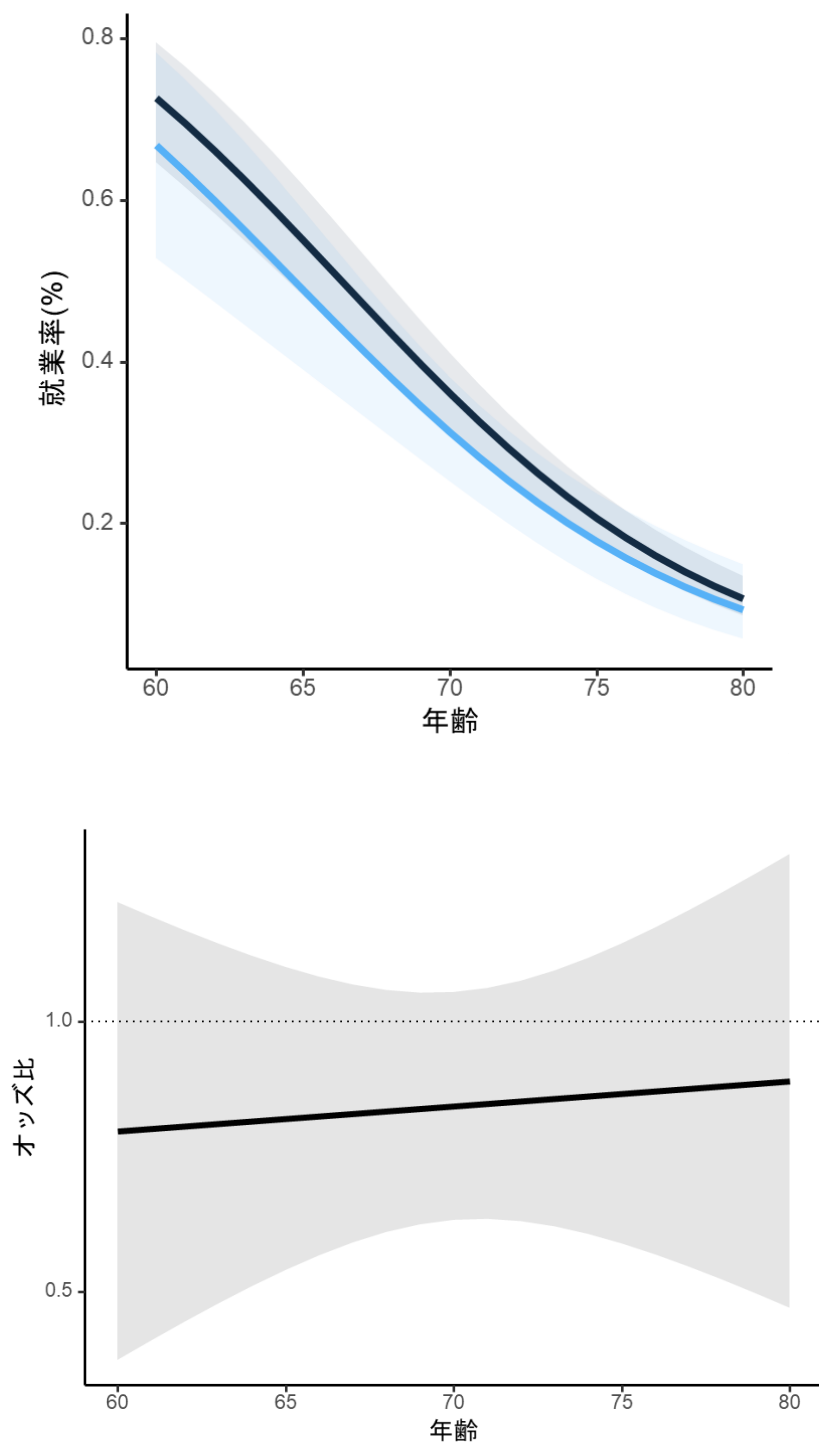


図 41. 排尿に満足が・年齢別の推定就業率(上)と年齢別のオッズ比(下)
青が満足、黒が不満

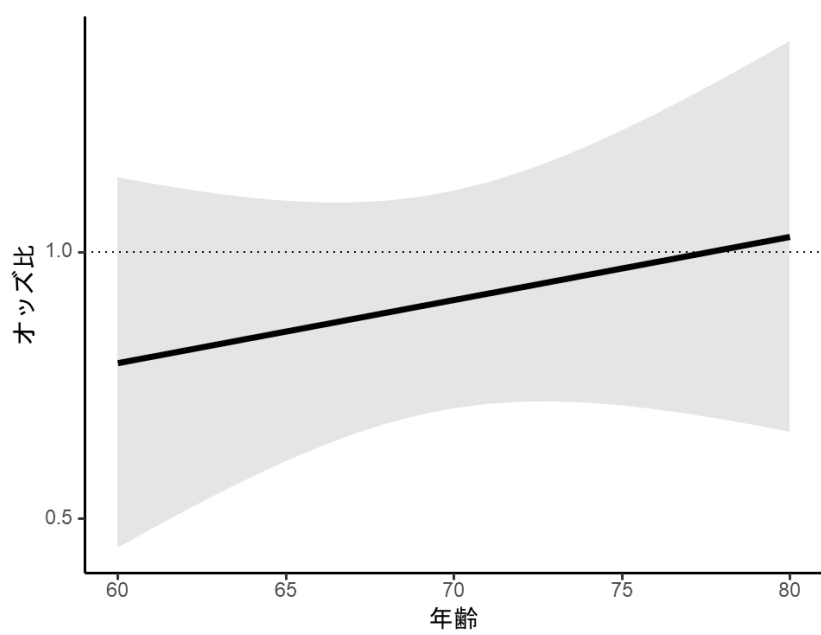
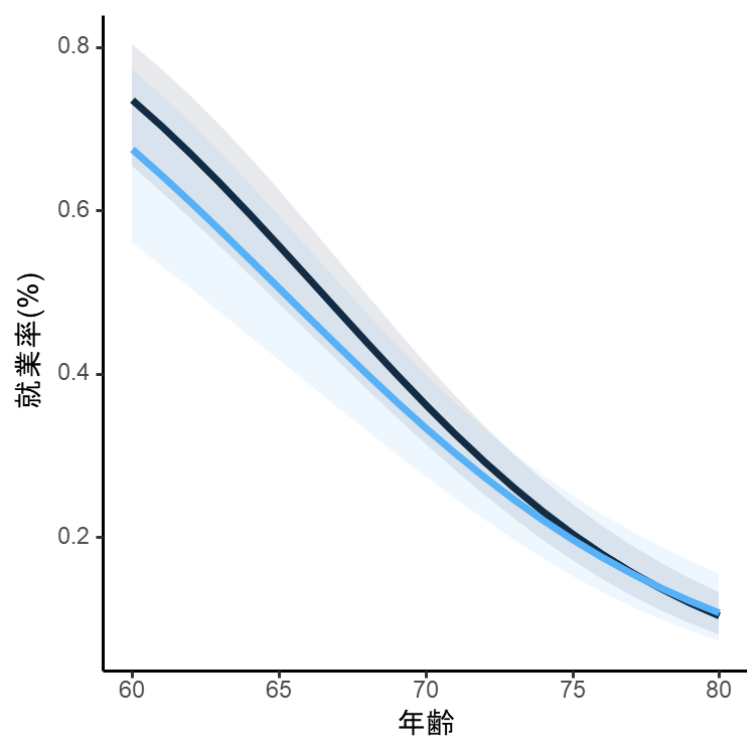


図 42. 尿漏れ・年齢別の推定就業率(上)と年齢別のオッズ比(下)
青があり、黒がなし

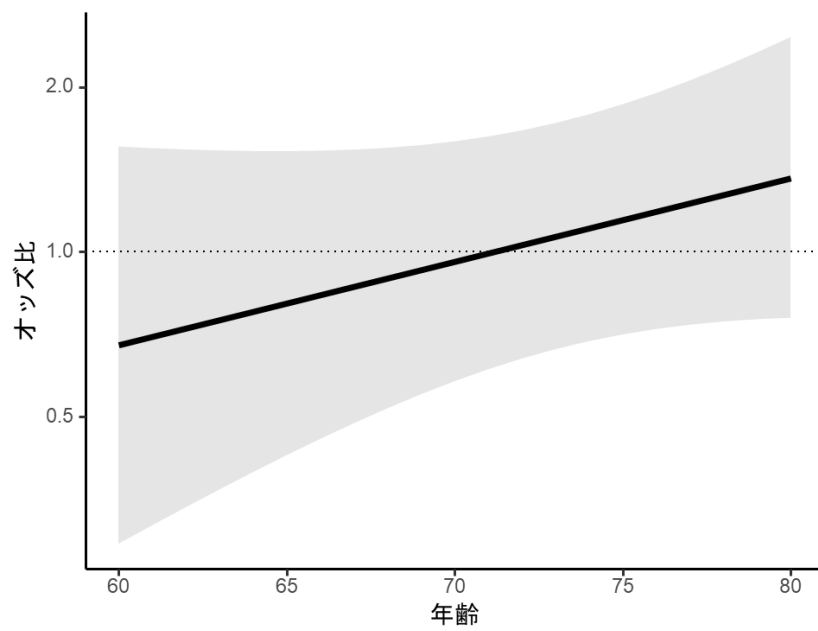
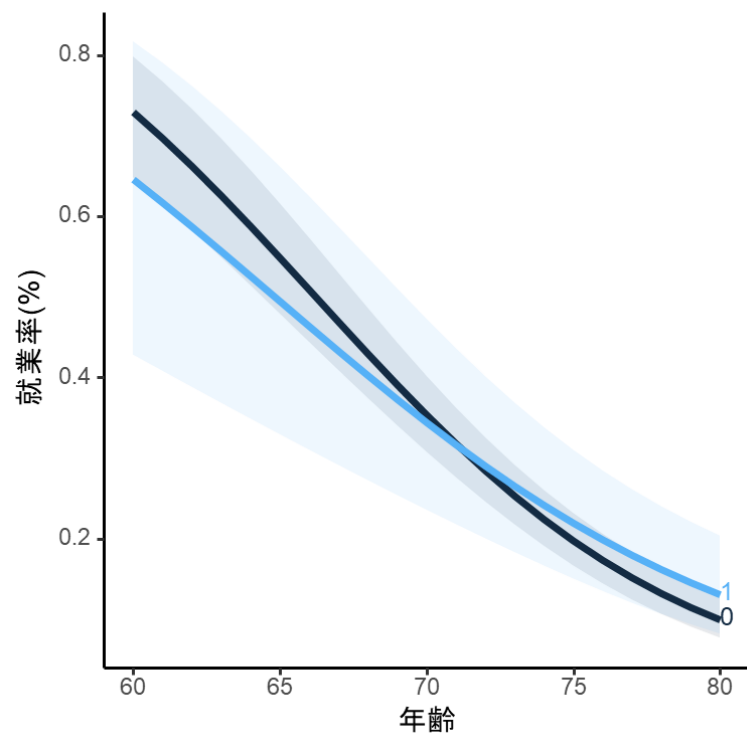


図 43. フレイル・年齢別の推定就業率(上)と年齢別のオッズ比(下)
青があり、黒がなし

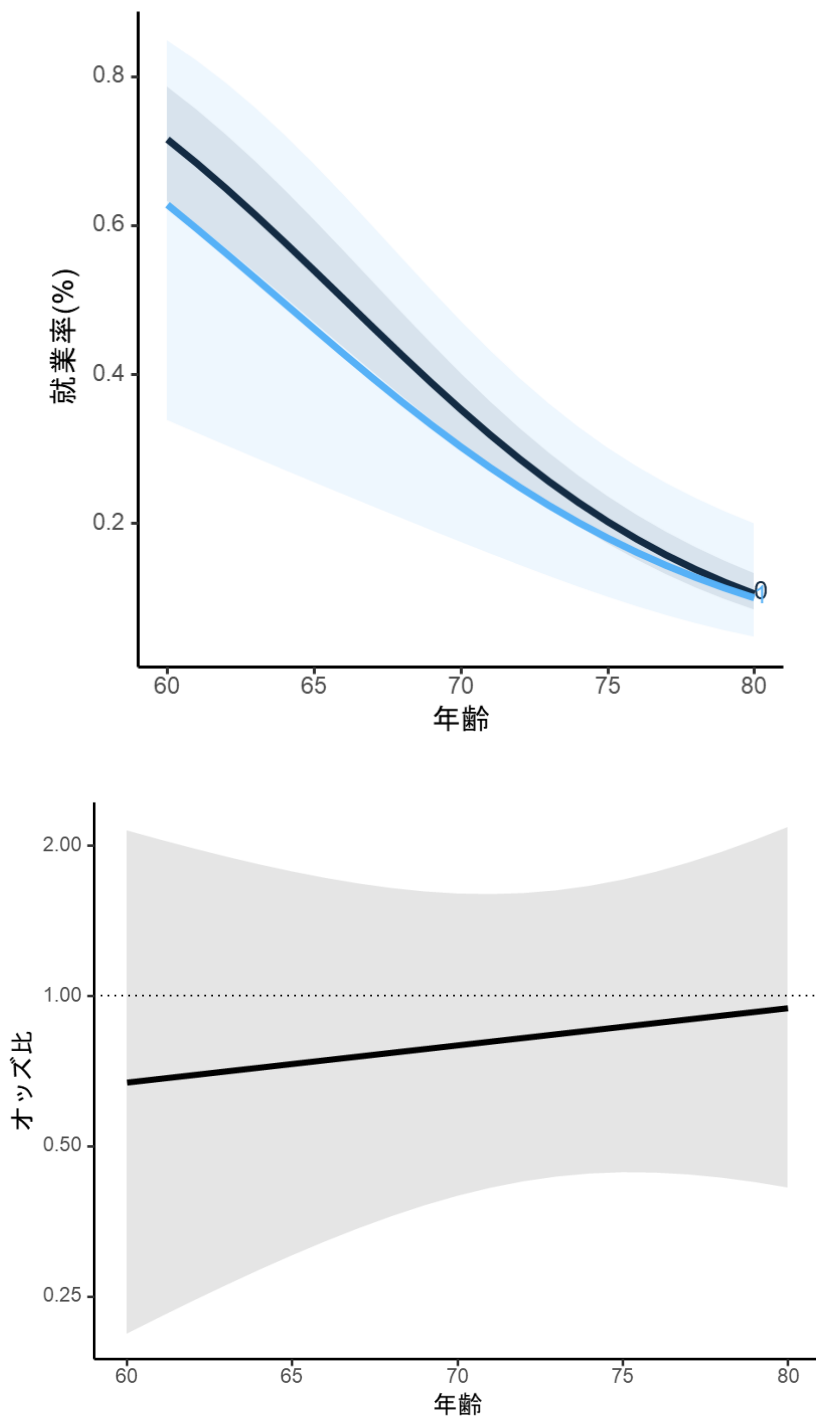


図 44. サルコペニア・年齢別の推定就業率(上)と年齢別のオッズ比(下)
 青があり、黒がなし